

文 学 部

英語学英文学科

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14131 14135	Sophomore English	必	春学期 秋学期	各2	3・4	NOSAKA, Jonathan
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 COURSE DESCRIPTION: *Cross-Cultural English* is a course designed to help students enhance essential English skills needed for successful participation in discussions and written expression at the university level. Students will use the library and the Internet to locate appropriate materials in order to express and support their oral and written opinions regarding cross-cultural issues. A variety of group activities including presentations will often be supplemented with short descriptive papers. A final 3-5 page typewritten paper will be written based on a cross-cultural issue chosen by each student.

【講義内容】 COURSE OBJECTIVES: By the end of the course, students should be able to do the following:
 1) use appropriate sources to support points of view in class discussions, debates and in short papers, including the final paper.
 2) sufficiently search the Internet and library for sources.
 3) create an effective hypothesis and thesis statement.
 4) collect data to support a hypothesis and thesis statement
 5) paraphrase information for use within the context of a formal debate.
 6) orally present points of view concerning controversial issues in a clear and persuasive manner.
 7) develop an increased awareness and sensitivity regarding cross-cultural issues.
 PARTICIPATION: *A note to students: Active participation is expected of ALL students at ALL times. This also means that you are expected to do your homework BEFORE class. Always be ready to volunteer and be called on!

【講義計画】 ATTENDANCE POLICY: This class meets only once a week, therefore, every two absences will equal a drop of one letter grade from the final grade. Two tardies will equal one absence. An excused absence must be justified with a written note of some kind by an official person (e.g. a doctor's note signed by the doctor). However, students will be held responsible for any notes, homework, and any other classroom preparation assigned during the class (es) that you missed regardless of whether or not the absence was excused. Late work will receive a lower grade than work turned in on time. Regarding group work, each student will be held accountable for the success of their group in and out of class, therefore, students who are absent from group work days and presentation days will receive a "O" (two "F" s) for that project.

【評価方法】 OVERALL BREAKDOWN* :
 50% Homework, discussion preparation, in-class participation
 25% Presentations
 25% Final Paper

*These percentiles are approximations and are subject to change throughout the course of the semester by the instructor.

【テキスト】 Printed Material
 (English / English Dictionary)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14145	英米文学概論B2	必	春学期	各2	3・4	SELAND John
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【講義内容】 The aim of this course is to come to a general understanding of the life and culture of the people of the United Kingdom in modern times. What are the people like, and what do they value? Why, though small in size, is the United Kingdom such an important country today? What is its culture like? What are some of its contributions to international society? What are some of its problems? We want to examine these questions in detail in an attempt to learn not only about the English, but also about the Welsh, Scotch, and Irish people. In order to learn something about English Literature, we also intend to spend part of the class studying some

of the important writers of Britain, particularly, the novelists. We will look at the ideas and lives of some of the more famous writers: the Brontes, Charles Dickens, Thomas Hardy, E. M. Forster, and James Joyce. Often videos will be used as background material, but also to get a clear idea of their more important works.

【テキスト】 *Spotlight on Britain*, by Susan Sheerin, and Others, 2nd edition, Oxford University Press, 1985.

【評価方法】 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
14171	英文基礎演習A 1a [再]	必	秋学期	2	3・4	MAYER David
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 外国語学部開講科目40116「文学研究の基礎 (小説) A」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
14176	英文基礎演習B 1a [再]	必	春学期	2	3・4	玉崎 孫治
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 文学部英語学英文学科開講科目14185「英語上級講読 I 5」、14485「英講英文学講読 I 5」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
14181 14191	英語上級講読 I 1・II 1	必	春学期 秋学期	各2	3・4	荻野 昌利
14481 14491	英語英文学講読 I 1・II 1	選必	春学期 秋学期	各2	4	荻野 昌利
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 W. Somerset Maugham, *The Moon and Sixpence* 講読

【講義内容】 サマセット・モームの代表作のひとつ『月と六ペンス』を精読する。この作品は後期印象派の代表的画家として名高いポール・ゴーギャンをモデルにしていることで知られ、家庭も仕事も投げうってすべての情熱を芸術に捧げて生きた男の物語。その当時の画家たちの生態が生き生きと描かれ、世紀末から20世紀初頭の芸術運動の内幕をうかがうに格好の手引きとなるもの。おりに触れて講義を交えつつ訳読する。モームの文体は平明で読みやすく、学生の訳読に好適である。

【講義計画】 春・秋学期、上記のテキストを通読する。かなり長編 (186pp.) なので重要な箇所を拾いながら読みを完結するつもりである。基本的には学生による輪読形式に拠るが、随所に講義を交える。

【評価方法】 学期末試験に普段点を加味する。

【テキスト】 *The Moon and Sixpence* 中野好夫、瀬尾裕注 (金星堂)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14182 14192	英語上級講読Ⅰ 2・Ⅱ 2	必	春学期 秋学期	各2	3・4	鈴木 孝夫
14482 14492	英語英文学講読Ⅰ 2・Ⅱ 2	選必	春学期 秋学期	各2	4	
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 *Doctor Faustus* を読む

【講義内容】 いまだ黎明期にあったエリザベス朝演劇を、力強い言葉と思想によって一挙に世界文学の水準に押し上げた功績は、シェイクスピアと同年に生まれ、29歳で夭折したChristopher Marloweにある。(マーロウが死んだ時シェイクスピアは、修業時代からやっと抜けだした頃だった。)
マーロウは、無限の欲求に燃える強烈な自我の持ち主の破滅を中心テーマとしたが、主人公の強烈な性格描写と、多数の短いシーンを用いて優れた舞台効果をおさめるドラマの手法は、シェイクスピアに大きな影響を及ぼした。と同時に、『フォースタス博士』は、成立して間もない散漫で稚拙なファウスト伝説を、無限の知識欲に燃える超人の悲劇に高め、ゲーテの『ファウスト』をはじめ近・現代のヨーロッパの文学と音楽などくファウストもの」芸術のバイオニアとなったものであり、マーロウの力量は「いかに綿密に、すべてが構想されていることか！」と絶賛したゲーテの言葉にうかがえる。
本講では、この名作を精読し、さらに、マーロウの作劇法を学びたい。

【講義計画】 毎回、あらかじめ指名された2名が協力して約70行を和訳してから、全員で語法・構文から内容まで疑問のある点について検討する。

【評価方法】 定期試験の成績を主とするが、指名時の発表成果と、全員の討論における発言内容を加味して評価する。

【テキスト】 D. Bevington, and E. Rasmussen, eds., *The Tragical History of Doctor Faustus: A-and B-texts (1604, 1616)*, The Revels Plays Ser. (Manchester Univ. Press).

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14183 14193	英語上級講読Ⅰ 3・Ⅱ 3	必	春学期 秋学期	各2	3・4	山 崎 勉
14483 14493	英語英文学講読Ⅰ 3・Ⅱ 3	選必	春学期 秋学期	各2	4	
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 *The Odd Women* 研究

【講義内容】 George Gissingの*The Odd Women*を読む。十九世紀末の人間模様、特に、女性達のあり方を知るのに格好の作品である。二十世紀末に生きる女性達の抱える問題に関心を持つ者にとっての必読書でもある。ヴィクトリア朝のフェミニズムについての参考書も多く読んでもらうことになるであろう。

【講義計画】 グループ毎の発表とそれに対する他の者達の質疑からなる授業。

【評価方法】 普段の発表と学期毎のレポートを対象とする。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時間数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 *The Odd Women* (Penguin Classics)

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14185 14195	英語上級講読Ⅰ 5・Ⅱ 5	必	春学期 秋学期	各2	3・4	玉 崎 孫 治
14485 14495	英語英文学講読Ⅰ 5・Ⅱ 5	選必	春学期 秋学期	各2	4	
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 “ことば”の働き

【講義内容】 日常のコミュニケーションで使う言葉の意味は多様である。単なる単語の意味の集合ではなく、話し手の人間がおかれている社会的立場を同時に伝えている。われわれの社会的環境が“ことば”に直接反映するのである。従って、“ことば”の意味は、従来の文法研究だけでは説明が難しく、言語使用の社会的環境（言語使用の“コンテキスト”）の考察も必要になってくる。この講読では、言語を社会記号論として捉える立場の言語研究の考え方をやさしく考察する。これはヨーロッパで続いている機能的な言語研究の流れに沿った考え方で、イギリスの言語学者Hallidayがリーダーとなって発展してきた言語研究である。

【講義計画】 一般の読者を対象に書かれたやさしい教科書を講読し、コミュニケーションの結果として生まれる“テキスト”の伝える意味の分析の初歩を学ぶ。テキスト講読がある程度進んだ段階で、やや専門的な機能的な言語分析の研究を加えつつ、やさしい言語データを用いて実際に言語分析を体験するようにしたい。教科書のタイトルでもわかるように、テキストとコンテキストの相互関係の考察から始めて、さらに広く人間のコミュニケーションの諸相を観察する方法に進みたい。

【評価方法】 クラスでの発表と期末レポート。出席重視。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 Schourup & Cauldwell: *From Text to Context* (くろしお出版)、プリント

【そ の 他】 この講読を取るにあたって、特別な言語研究の予備知識は何も要らない。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14186 14196	英語上級講読Ⅰ 6・Ⅱ 6	必	春学期 秋学期	各2	3・4	天 野 政 千 代
14486 14496	英語英文学講読Ⅰ 6・Ⅱ 6	選必	春学期 秋学期	各2	4	
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 言語発達の諸特性

【講義内容】 あたりまえのようで、あたりまえでないのが子供が母語を習得する能力である。この授業では心理言語学に関する文献を用いて、子供の母語習得の特徴について学ぶ。不幸にして事故などにより、もしも子供がいかなる言語も学ぶことができなかったとしたら、それは子供の精神発育にどのような影響を及ぼすのであろうか。この授業では言語習得、精神、頭脳がどのような関係にあるのかを具体例に基づいて学ぶ。また、言語が子供の精神発達に不可欠であるとするならば、body languageやsign languageがそれに代わり得るものであるのか、どうかについても考える。

【講義計画】 講義内容に関係する文献を読んでいくことになるが、どのような授業形態になるかは受講生と協議して決める。こちらで内容を説明するにとどめることもあるし、受講生から読んでもらうこともある。いずれにせよ、テキストをきちんと読んでくることが前提となるし、内容の理解はもちろんのこと、英文の解釈も自信のない箇所は積極的に授業中に質問してほしい。極度に専門的になることは避けるが、将来本格的に言語学を学ぶ人が基本的な用語や概念を学べるようにもしたい。

【評価方法】 春学期と秋学期にそれぞれ英文解釈と内容の理解度を見る筆記試験を行う。

【テキスト】 こちらで資料をすべて用意するので、テキストは不要。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14251 14261	英文演習Ⅰ 1・Ⅱ 1	必	春学期 秋学期	各2	3	鈴木 孝夫
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 シェイクスピア研究Ⅰ——初期の喜劇

【講義内容】 『夏の夜の夢』は、古来、幻想的な美しさに満ちた喜劇と言われてきた。確かに、この作品は全編にわたって初夏の祭りや婚礼など祝祭の空気がみなぎっており、シェイクスピアの“magical language”——暗示性豊かなイメージ語——の妙味が遺憾なく発揮されている。しかし作品の奥行きは意外に深く、お伽話風の物語のヴェールを透して、現実と想像、文明と自然という対立的テーマの他、家父長制など現代にかかわるテーマが見え隠れしている。本ゼミは、この作品を精読し、1) 言葉（特に比喩表現）の暗示効果、2) 舞台空間の持つ効果（感覚的インパクトや象徴的意味）について徹底した分析を行い、シェイクスピアの〈複眼の思想〉に迫ろうとするもの。

【講義計画】 授業は1～2場面（scene）程度を一区切りとして3～4名がグループ発表の形で作品分析を行うが、あらかじめ全員に初見や疑問を記した簡単な（1頁程度）のレポートを提出させ、討論に用いる。全文の訳読は行わないが、構文・語法上もしくは内容上問題のある箇所には適宜和訳をほどこし検討する。秋学期末には、締めくくりのレポートとして作品についての英文評論の要約を求める。

【評価方法】 毎回（場面毎）のレポートと期末レポート（後期のみ）を中心とするが、グループ発表と討論における発言内容と積極性を加味して評価する。

【テキスト】 R A. Foakes, ed., *A Midsummer-Night's Dream*, New Cambridge Shakespeare (1987)と石井正之助編、*A Midsummer-Night's Dream*（大修館シェイクスピア双書）を併用。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14252 14262	英文演習Ⅰ 2・Ⅱ 2	必	春学期 秋学期	各2	3	山 崎 勉
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 *Great Expectations* 研究

【講義内容】 Charles Dickensの*Great Expectations*を読む。Kent州のThames河口近くの地域（Dickensが少年時代を過ごし、後に居を構えた土地である）とLondonとを背景とするこの小説は、彼の作品の裡でも最もまとまりのあるものである。主人公Pipの空ろなる夢と挫折の物語は、Dickensの自伝的な精神史であるとともに、唯物的な価値観に振り回されているヴィクトリア朝の人々への警鐘ともなっている。

Dickensの円熟した筆から生まれた人物描写、効果的なイメージ群、人物の空間的な遍歴と精神的な遍歴とを結び付ける手法を分析するとともに、*Great Expectations*を執筆していた頃の彼の人間観と社会観とを検証することがこの演習の目的である。

【講義計画】 グループ毎の発表を旨とする。毎回グループに発表してもらう訳だが、そのグループ外の学生にはいくつかの質問を前以って準備しておいてもらう。

【評価方法】 普段の発表と学期毎のレポートを対象とする。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

【テキスト】 *Great Expectations* (Oxford Illustrated Dickens 版)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14253 14263	英文演習 I 3・II 3	必	春学期 秋学期	各2	3	武田 悠一
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 *The Scarlet Letter* 研究

【講義内容】 Nathaniel Hawthorneの*The Scarlet Letter*(1850)を読むと同時に、批評の基本的な方法を学ぶための演習。『緋文字』という「古典」を読むということは、それが今までどのように読まれてきたかを意識しながら読むということです。とりわけ新批評以降の現代批評は、この作品に対しても多様な読みを呈示してきました。それらを検討しながら、自分なりの読み方を身につける訓練をします。また、この作品が書かれた19世紀半ばのアメリカ、この作品の舞台となっている17世紀のアメリカという歴史的・文化的コンテクストを視野に入れ、文化論的な観点から『緋文字』を読む方法についても考えます。

【講義計画】 批評的に何が問題になるかを検討しながら*The Scarlet Letter*のテキストを読みます。毎回数人のレポーターの発表と、全員による質疑応答、意見交換を行います。

【評価方法】 クラスでの発表の内容、質疑応答や意見交換への積極性、期末レポートによって総合的に評価します。欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 Nathaniel Hawthorne, *The Scarlet Letter*, Third Edition (Norton)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14254 14264	英文演習 I 4・II 4	必	春学期 秋学期	各2	3	玉崎 孫治
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 機能言語学入門

【講義内容】 機能言語学（正確には機能体系的言語学）の目標、方法を理解し、言語形式そのものの研究というより、言語活動における言語の意味（機能）の研究手法を学ぶ。これを平易なことばに言い換えてみると、人間は何のためにいつ、どこで、どんな風に“ことば”を使うのか、という問題に、体系的な答えを与えようとする言語研究である。ここでは、節や文の研究も当然機能的な視点で眺め、言語と文化や社会の関係にまで研究のメスを入れようとする。われわれは社会的活動の中で、ことばをコミュニケーションの手段として使っているが、そのコミュニケーションの仕組みを理解するには、言語構造の機能的分析が必要である。このクラスで扱う言語研究は、そのような言語分析の基礎を学ぶことを目的とするイギリス生まれの学問である。

【講義計画】 クラスを3人ぐらいのグループに分け、テキストをグループ毎に分担して発表させる。各グループの発表の後、グループ間の発表内容の連携を確実にするため、他のグループのゼミ生には、（発表グループの）発表内容のまとめと評価をさせる。

【評価方法】 クラスでの発表、小論文の総合判断
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 Eggs : *An Introduction to Systemic Functional Linguistics* (Pinter, 1994)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14255 14265	英文演習Ⅰ 5・Ⅱ 5	必	春学期 秋学期	各2	3	日 野 水 憲
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 「語」とその構成——統語論との接点を求めて

【講義内容】 文を構成する基本単位は「語」であるが、その「語」にも内部構造があるとは余り考えることはないだろう。しかし、“went”は“go”と“Past”という二つの要素から成っているとするならば、これは立派に複雑な内部構造をもっていると言えよう。このゼミでは、このような英語の「語」の内部構造がいかなるものなのかを考察することを目標とするものである。とくに「派生」、つまり「語」の構成法を焦点にして、「形態論」の基本概念と研究方法を身につけるようにしたい。

【講義計画】 テキストを担当者が要約し、問題点を明らかにすることで、全体のディスカッションへと発展させる。最後に、そのまとめとして、講義するという形式で行う。

【評価方法】 発表と討論、学期末試験、レポートによる総合評価。ゼミ討論への参加がとくに重視される。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリント。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14256 14266	英文演習Ⅰ 6・Ⅱ 6	必	春学期 秋学期	各2	3	鈴 木 達 也
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 生成文法による言語分析

【講義内容】 [春学期]
基礎演習で得た言語学の基礎的な知識を基に、生成文法の基本的な言語分析の方法を学んでいきます。まず理論を理解することが大切ですが、知識の蓄積のみを目標とするのではなく、自らの視点で様々な現象について自分で考える習慣を身に付けてもらうことを主眼とします。

[秋学期]
春学期に引き続いて生成文法の基礎的な分析方法を学びますが、徐々に最新理論による分析についても研究していきます。同じ現象を分析するのに視点が異なれば分析結果も大きく異なってくるということを理解してもらいます。

【講義計画】 数人のグループに分かれ、それぞれに割り当てられた項目について発表し、全員でディスカッションを行います。特に練習問題の解答には十分時間をかけて全員が納得のいくまで議論を行います。有意義なディスカッションのためにも、テキストに書かれていることだけでなく、各自積極的に参考文献にも目を通すことが大切です。

【評価方法】 発表、ディスカッションへの参加、レポート等の成績を基に総合的に判断します。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 Liliane Haegeman & Jacqueline Guéron (1999) *English Grammar: A Generative Perspective* (Blackwell)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14271 14281	英文演習Ⅲ 1・Ⅳ 1	必	春学期 秋学期	各2	4	荻野 昌利
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 D. H. Lawrence, *The Rainbow* 研究

【講義内容】 イギリス20世紀を代表する作家の一人D. H. Lawrenceの*The Rainbow* (1919)を通読する。Lawrenceの故郷ノッティンガムに近い農家Brangwen一家の1840年代から三代にわたる歴史を扱ったもので、*Women in Love*と並んでLawrence文学の最高傑作であるばかりでなく、作者の独自の文明観を表明した思想的啓発の書でもある。物語を読みながら、この作品の思想的内容を咀嚼することによって、Lawrence文学の本質を少しでも理解できたらと思う。

【講義計画】 演習Ⅰ・Ⅱと同様、輪読形式で毎週リポーターの研究報告を中心に議論を交えつつ授業を進める。各報告者はその都度ハンドアウトを配布し、報告をいっそう効果的にすることが望まれる。

【評価方法】 学期末のリポートと普段点（ハンドアウトも重要な評価の基準）。

【テキスト】 D. H. Lawrence, *The Rainbow* (Penguin Twentieth-Century Classics)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14272 14282	英文演習Ⅲ 2・Ⅳ 2	必	春学期 秋学期	各2	4	MAYER David
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 American Writers of Japanese Ancestry: Patient Mori and Passionate Mori

【講義内容】 Toshio Mori left a record of Issei and Nisei life in Oakland during the Depression and the Wartime Internment. His short stories reveal problems in society and the different ways people face the difficulties of life. The narrator is calm despite the tensions. On the other hand, a contemporary immigrant, now a USA citizen, Kyoko Mori makes plain her dissatisfaction with the “polite lies” people use to avoid facing problems.

【講義計画】 In the Spring session we will read the short stories in Toshio Mori’s *Yokohama, California* to get an understanding of the discrimination and difficulties the Issei and Nisei endured.

In the Fall session we will use Kyoko Mori’s autobiographical essays in *Polite Lies* to compare the American situation now with that of the 1930s and to map out the cultural differences Kyoko Mori has experienced through her lives in Japan and in America.

【評価方法】 Students will take turns reporting on the Toshio Mori stories and write their own responses each week to Kyoko Mori’s experiences. A final examination or final paper will complete the course.

【テキスト】 Mori, Toshio. *Yokohama, California*. University of Washington Press.
Mori, Kyoko. *Polite Lies*. Fawcett.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14273 14283	英文演習Ⅲ 3・Ⅳ 3	必	春学期 秋学期	各2	4	山 崎 勉
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 *Sketches by Boz* 研究

【講義内容】 *Sketches by Boz* を昨年度に引き続き読む。1833～1836年に執筆された随筆と短論小説のコレクションであるこの作品には、当時の人々の生活の数多くの側面、そして、社会の病根といったものが横溢している。ヴィクトリア朝の他の作家達の都市を舞台とした作品を読むための準備にもなると思われるので、精読を旨としたい。(ヴィクトリア朝は1837年のヴィクトリア女王即位を以て始まる訳であるが、この作品が執筆された頃にも既にそのいくつかの特徴が窺われる。)

【講義計画】 グループ毎の発表を旨とする。毎回グループに発表してもらい訳だが、そのグループ外の学生にはいくつかの質問を前以って準備しておいてもらう。

【評価方法】 普段の発表と学期毎のレポートを対象とする。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 昨年度と同じ。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年 次	担 当 者
14274 14284	英文演習Ⅲ 4・Ⅳ 4	必	春学期 秋学期	各2	4	武田 悠一
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 Hemingway研究

【講義内容】 Ernest Hemingwayの*A Farewell to Arms*を読むと同時に、文学批評の方法を学びます。最近のHemingway批評には、精神分析やフェミニズム批評の観点から、ジェンダーやセクシュアリティの問題に焦点をあててHemingwayのテキストを読もうとする傾向が見られますが、こうした読み方を検討しながら、文学テキストを「批評的」に読むための訓練をするのが目的です。

【講義計画】 *A Farewell to Arms*と、この小説をめぐる書かれた批評を読みながら、作品分析を行います。毎回数人の発表と、それに対する質疑応答、意見交換を行います。

【評価方法】 クラスでの発表の内容、質疑応答意見交換への積極性、期末レポートによって総合的に評価します。欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 Ernest Hemingway, *A Farewell to Arms* (Penguin)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年 次	担 当 者
14275 14285	英文演習Ⅲ 5・Ⅳ 5	必	春学期 秋学期	各2	4	玉崎 孫治
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 テキストの機能的分析：テキストは何を語る？

【講義内容】 選択体系的機能言語学の分析最終目標は、テキスト分析であると言っても過言ではない。コミュニケーションのための言語行為は、音声形式ないし文字形成の形を取ったテキストとなって表れるが、それには伝達行為に携わる人間のいろいろな側面（社会的、文化的なコンテキストの要因）を内包している。このような言語の使用面の分析に適した選択体系的機能言語学の方法論を一通り理解した上で、実際にテキストの分析を試み、分析上の問題点を考察する。

【講義計画】 演習Ⅰ・Ⅱで読んできたテキストの残りを終え、その後この言語学派の研究論文を数編講読する。実際にテキスト分析をしながら問題点を検討してもらう。3人程度のグループによる共同研究の形をとり、クラスでの発表をしてもらう。

【評価方法】 クラスでの発表とレポートの総合判断

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

- 【テキスト】 Eggin : *An Introduction to Systemic Functional Linguistics*. (Pinter, 1994)
参考書として、Halliday: *An Introduction to Functional Grammar*. 2nd ed. (Edward Arnold, 1994)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14276 14286	英文演習Ⅲ 6・Ⅳ 6	必	春学期 秋学期	各2	4	日 野 水 憲
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

- 【副 題】 「複合語」の派生とその制約

- 【講義内容】 複合語は、基底となる語の範疇によって、分析の方法、あるいは、派生の段階に差があるように思われる。しかし、果たして、本当にそうであろうか。本講義では、「複合名詞」に注目し、その派生を、形態的、統語的側面に焦点を当てて、検討する。春学期はとくに“Deverbal Nominals”を検討し、秋学期は“Non-verbal Nominals”に着目していく予定である。

- 【講義計画】 資料を丹念に読解していく。訳にとくに注意し、内容の理解を深めたい。発表担当者は、「訳文」とその部分の要点、問題点を、クラスの討論資料として用意すること。

- 【評価方法】 クラス発表、討論参加、レポートなどの総合評価。

- 【テキスト】 プリントなど。参考資料は、適宜紹介する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14277 14287	英文演習Ⅲ 7・Ⅳ 7	必	春学期 秋学期	各2	4	鈴 木 達 也
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

- 【副 題】 建設的批判

- 【講義内容】 [春学期] [秋学期]
数人のグループに分かれ、それぞれに割り当てられた項目について発表し、全員でディスカッションを行います。その際、テキストに書かれていることを鵜呑みにするのではなく、ひとつの事象を別の角度から考えた場合どのような新たな可能性が見出せるかという点に重点を置いて議論を進めていきます。常に批判的な目をもって問題点を明らかにし、可能な代案を提案するという作業を繰り返していきます。

- 【講義計画】 各グループに対してテキストから割り当てられたトピックに関して発表した後、全員によるディスカッションを行います。その際、テキストに書かれている内容だけでなく、参考文献として挙げられている研究についても触れ、その一部については課題としてレポートを要求します。

- 【評価方法】 発表、ディスカッションへの参加、レポート等の成績を総合的に判断します。

- 【テキスト】 Peter W. Culicover (1997) *Principles and Parameters: An Introduction to Syntactic Theory* (Oxford University Press)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14401 14405	英語音声学AⅠ・AⅡ	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	日 野 水 憲
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 Why We Speak as We Do

【講義内容】 Phonetics is the study of the sounds of human language and how they are used. We will start with the basic concepts and terminology of phonetic study and apply this knowledge to the analysis of English. The first semester will focus on segmental phonetics, that is, consonants and vowels, and syllables. During the fall semester, suprasegmental phenomena such as stress, intonation, and rhythm will be discussed. There will be some discussion on the teaching of pronunciation in the classroom.

【講義計画】 Lecture, with quizzes.

【評価方法】 One 90-minute final examination per semester ; quizzes and class participation. One tape recording of text per semester to test understanding of class material.

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 Undecided as of Nov. 6, 2000.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14415 14421	英文法論AⅠ・AⅡ	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	鈴 木 達 也
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 生成文法：規則の集合としての文法から原理・変数アプローチへ

【講義内容】 [春学期]
言語の科学的研究を目指す生成文法では、文法＝人間の持つ言語能力と考え、文法は規則の集合であると仮定した。本講義では、この仮定のもとで提案された言語分析について振り返り、言語の規則としてのどのようなものが考えられるのか、また、このアプローチの問題点などについて講義することとする。

[秋学期]
生成文法における文法とは、人間の持つ言語能力のことを意味するので、文法研究と言語習得は密接な関係をもっている。本講義では、人間の子供が比較的短期間のうちに、非常に限られた言語資料に基づきながらも豊かで複雑な言語を習得するという事実を説明するために提案された「原理・変数アプローチ」について解説を加えるものとする。

【講義計画】 [春学期]
1. イントロダクション：生成文法の基礎
2. 初期（1950年代～60年代中期）
3. 発展期（1960年代後期）
4. 転換期
5. まとめ
[秋学期]
1. イントロダクションⅠ：規則の集合としての文法
2. イントロダクションⅡ：原理・変数アプローチの概念
3. 1970年代後期
4. 1980年代：統率束縛理論
5. 新理論：ミニマリスト
6. まとめ

【評価方法】 出席点、期末テストの結果を基に総合的に判断する。なお、欠席時数が授業予定総時数の3分の1を超えた場合、「欠席過多 (S)」による不合格とする。

- 【テキスト】 なし
参考書として、荒木・小野『英語の輪郭』（英潮社）、町田 健『生成文法がわかる本：もうチョムスキーはこわくない！はず…』（研究社）及び中井悟『言語学は自然科学か：生成文法の方法論』（昭和堂）を推薦。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14431 14435	イギリス文学史AⅠ・AⅡ	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	荻野 昌利
他の科目との関連						他学科履修 可

- 【講義内容】 アングロ・サクソン期から20世紀に至るイギリス文学の歴史を通観する。前期は*Beowulf*に始まって、17世紀まで、後期は18世紀から20世紀初頭まで。主要な作家を重点的に取り上げ、特に作家の生きた時代背景に重点を置いて、個々の作家作品を講ずる予定。

- 【講義計画】 下記の作家作品を主軸にして、講師の主観を随所に挿入し、春・秋学期同一の形式で継続する。
春学期：*Beowulf*, Chaucer, Shakespeare, *The Authorized Version*, Milton, Bunyan, etc.
秋学期：Dryden, Pope, Swift, Johnson, Richardson, Fielding, Wordsworth and the Romantics, Dickens and the Victorian Novelists, Tennyson and the Victorian Poets, the fin-de-siecle writers, etc.

- 【評価方法】 学期末の筆記試験（持込不可）を唯一絶対の判断基準とする。出席はとらない。

- 【テキスト】 川崎寿彦著『イギリス文学史』成美堂

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14445 14451	アメリカ文学史AⅠ・AⅡ	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	武田 悠一
他の科目との関連						他学科履修 可

- 【講義内容】 植民地時代から現代に至るまでのアメリカ文学の歴史を概観します。もちろん、時間的な制約があるので、網羅的に論じることはできません。重要と思われる作品、作家、流派、あるいは文学運動を重点的に取り上げることになります。その過程で、「アメリカ」、「文学」、「歴史」という概念それ自体が問題になるでしょう。これらの概念は、固定的なものではなく、つねに読み替え可能です。たとえば現在も、人種、ジェンダー、セクシュアリティという観点から、どういう作家・作品が「アメリカ文学」の正典とみなされ、またどういう作家・作品がそこから排除されてきたのかを検討する作業が進行中です。「アメリカ文学史」を、消んでしまった過去として語るのではなく、現在も再構成されつつある言説の場として捉えること、それがこの講義の中心的課題です。

- 【講義計画】 講義はテキストに沿って進めますが、テキストで論じられている作品（あるいは論じられていない作品）の一部を原文（プリントして配布）で読みながら、春学期は19世紀半ばまで、秋学期は19世紀後半から現代に至るまでについて講義する予定です。

- 【評価方法】 学期末試験の成績によって評価します。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多（S）」による不合格とする。

- 【テキスト】 別府恵子・渡部和子編著『新版アメリカ文学史』（ミネルヴァ書房）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14461 14471	英語表現法Ⅰ 1・Ⅱ 1	選	春学期 秋学期	各1	3・4	RAMSEY David
14501 14511	上級英語表現法Ⅰ 1・Ⅱ 1	選必	春学期 秋学期	各1	4	RAMSEY David
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 This advanced-level course will focus primarily on listening and speaking to develop student's confidence in English conversation. Students will work with partners and in small groups on topics of discussion and present their ideas to class. Lectures will provide the opportunity to sharpen note-taking skills, and reading and writing assignments will help develop fluency and vocabulary.

【講義計画】 While this is primarily a conversation course, all four language skills (listening, speaking, reading and writing) will be integrated throughout the year. In the second semester, more attention will be paid to compositional skills, and students will learn how to write a thesis-driven, academic essay.

【評価方法】 Regular attendance and class participation, quizzes, written reports, and final. The department requires that all students must submit a paper. This will also be included in the evaluation.

【テキスト】 To be announced.

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14462 14472	英語表現法Ⅰ 2・Ⅱ 2	選	春学期 秋学期	各1	3・4	RAMSEY David
14502 14512	上級英語表現法Ⅰ 2・Ⅱ 2	選必	春学期 秋学期	各1	4	RAMSEY David
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 This advanced-level course will focus primarily on listening and speaking to develop student's confidence in English conversation. Students will work with partners and in small groups on topics of discussion and present their ideas to class. Lectures will provide the opportunity to sharpen note-taking skills, and reading and writing assignments will help develop fluency and vocabulary.

【講義計画】 While this is primarily a conversation course, all four language skills (listening, speaking, reading and writing) will be integrated throughout the year. In the second semester, more attention will be paid to compositional skills, and students will learn how to write a thesis-driven, academic essay.

【評価方法】 Regular attendance and class participation, quizzes written reports, and final. The department requires that all students must submit a paper. This will be also included in the evaluation.

【テキスト】 To be announced.

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14463 14473	英語表現法Ⅰ 3・Ⅱ 3	選	春学期 秋学期	各1	3・4	PURCELL William
14503 14513	上級英語表現法Ⅰ 3・Ⅱ 3	選必	春学期 秋学期	各1	4	PURCELL William
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 Topics in the News I

【講義内容】 Do you read magazines and newspapers? Which ones? What sort of stories interest you? Would you like to try doing that in English. This course is designed for students who are interested in current events and topics of social, national, and international importance and interest.

【講義計画】 The course is organized around readings, discussions, and written assignments taken from articles in such English language publications as *Time* and *Newsweek* magazine, *The Japan Times*, *The Mainichi Daily News*, and *The Daily Yomiuri*. Articles will be selected according to student and teacher interest. The students will be expected to prepare for each class by carefully reading the assigned article, preparing individual questions for discussion, actively participating in the discussions, and occasional brief written assignments on the topics. They will also make brief presentations on articles of individual interest and keep a reading log.

【評価方法】 Grading for the course will be based on attendance, preparation, participation, reading log, occasional written assignments, and a short paper at the end of the term.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年 次	担 当 者
14464 14474	英語表現法 I 4 ・ II 4	選	春学期 秋学期	各1	3・4	SMITH Adelbert
14504 14514	上級英語表現法 I 4 ・ II 4	選必	春学期 秋学期	各1	4	SMITH Adelbert
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【講義内容】 This course is student-centered, that is to say, the students share with the teacher the responsibility for selecting topics to form the outline of a syllabus.

In the course work, students will work together - and with the teacher -to exploit and understand the topics chosen and to answer important questions raised. Pair work, small group work, class/group presentations, reports, role plays, simulations and brain-storming are among the techniques which will be used in the course, and students are expected to participate very actively. The underlying objective of the course is the improvement of English-language communication skills to prepare students to function well in their personal lives and in their careers after graduation.

All aspects of this course will be in English.

【講義計画】 The syllabus for this course is made up of topics chosen together by the students and the teacher. Students are required to bring five topics to the first class. The topics should be about social issues and problems from the world in which they live. First of all, the topics will be examined by the students and by the teacher, and the most popular and challenging will be chosen; these will form an outline of the syllabus. As already noted, the underlying objective of the course is the improvement of communication skills. To achieve this goal, discussion and a wide range of communication activities will be used. About half of the discussion and other activities will be led by the students themselves; the teacher will introduce and lead related activities on a regular basis.

In addition to discussion and related activities, vocabulary and grammar will be highlighted as needed. Also, written work appropriate to the various projects will be assigned.

【評価方法】 Final grades will be based on attendance, and on participation and cooperation in class activities. Class/group presentations and reports will also be evaluated and will contribute to the final grade.

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14465 14475	英語表現法 I 5 ・ II 5	選	春学期 秋学期	各1	3・4	SMITH Adelbert
14505 14515	上級英語表現法 I 5 ・ II 5	選必	春学期 秋学期	各1	4	SMITH Adelbert
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【講義内容】

This course is student-centered, that is to say, the students share with the teacher the responsibility for selecting topics to form the outline of a syllabus.

In the course work, students will work together - and with the teacher - to exploit and understand the topics chosen and to answer important questions raised. Pair work, small group work, class/group presentations, reports, role plays, simulations and brain-storming are among the techniques which will be used in the course, and students are expected to participate very actively. The underlying objective of the course is the improvement of English-language communication skills to prepare students to function well in their personal lives and in their careers after graduation.

All aspects of this course will be in English.

【講義計画】

The syllabus for this course is made up of topics chosen together by the students and the teacher. Students are required to bring five topics to the first class. The topics should be about social issues and problems from the world in which they live. First of all, the topics will be examined by the students and by the teacher, and the most popular and challenging will be chosen; these will form an outline of the syllabus. As already noted, the underlying objective of the course is the improvement of communication skills. To achieve this goal, discussion and a wide range of communication activities will be used. About half of the discussion and other activities will be led by the students themselves; the teacher will introduce and lead related activities on a regular basis.

In addition to discussion and related activities, vocabulary and grammar will be highlighted as needed. Also, written work appropriate to the various projects will be assigned.

【評価方法】

Final grades will be based on attendance, and on participation and cooperation in class activities. Class/group presentations and reports will also be evaluated and will contribute to the final grade.

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14521	英語英文学研究法 I 1	選必	春学期	1	4	荻野 昌利
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】

英米文学論文の書き方（基礎編）

【講義内容】

卒業論文作成のために、まずすべての英米文学論文の典拠となるMLA（Modern Language Association of Americaの略）*Style Sheet*に定められた論文の書き方について概説する。ただし慣例的に卒論形式は多少MLA形式と異なる点があるので、その相違点を具体的に明示して形式的に整った論文の作成法と、それに関連して論文のテーマの選び方、タイトル、章区分、Notes・Bibliographyの作り方の基本を教授する。

【講義計画】

論文の形式面に重点を置き、具体的に英米の学術論文のサンプルを用いてMLA式論文の定型について学び、次に過去の卒論のサンプルを用いて卒論の基本形を習得する。

【評価方法】

Notes, Bibliographyなど、その都度必要に応じてレポートを提出し、それを相互的に判断して評価する。

【テキスト】

プリント。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14525	英語英文学研究法Ⅰ 5	選必	春学期	1	4	日 野 水 憲
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 Academic Writing

【講義内容】 英語学の論文を書く時に留意すべき基本事項を解説する。まず、論文がもつべき形式や表現などについて検討し、さらに文献の表記法や文献検索の方法などについて解説します。さらに、論文のテーマの決め方などについて言及します。
実際の論文のテーマは、ゼミ担当教員と相談の上、各自で決めることになります。

【講義計画】 図書館の利用法、文献検索の方法などを解説し、毎週テーマに関する一ページほどの小論文を課します。これらの課題を、実際の論文作成に生かせるように指導します。毎週の授業予定は以下の通りです。
第一週： 「論文」とは、論文のテーマの選択
第二週： 図書館の文献検索、Internet検索、参考資料の活用など
第三週： Bibliographyの作成
第四週： Summary and Paraphrasing
第五週： Thesis Statement, Paragraph, Topic Sentence
第六週： Outline (Preliminary Version)
第七週： Outline (Final Version)
第八週： First Draft due
第九週： Evaluation of First Draft
第十週： Course Review and Revision of First Draft
第十一週： Second Draft due
第十二週： Evaluation of Second Draft
第十三週： Final Version due and Summary

【評価方法】 毎週の小論文とFinal Paperを総合的に判断します。毎週の出席が必須です。

【テキスト】 *MLA Handbook for Writers of Research Papers*, Fifth Edition (1999)

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14531	英語英文学研究法Ⅱ 1	選必	秋学期	1	4	荻 野 昌 利
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 英米の小説をテーマに卒論を書くことを希望する者に、論文執筆に必要な諸知識（NotesやBibliographyの作成と、形式上の基礎知識）を具体的に指導する。原稿の点検と添削も必要に応じて行なう。中間報告を義務づける。それ以外に個人的面接指導を随時行なう。

【評価方法】 卒論の評価と比較照合して判断する。

【テキスト】 プリント類。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14532	英語英文学研究法Ⅱ 2	選必	秋学期	1	4	MAYER David
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 This course will concentrate on organizing chapters and development of the research topic. Students will

report on their work and compare it with work done in previous years. They will also perfect their bibliographical entries, in-text source documentation, and, if necessary, content end notes. Computers will be used for more advanced word processing programs, searching their notes on diskettes, and using selected CD-ROM data bases.

This course presupposes a familiarity with the MLA Style for Research Papers.

【評価方法】 Grades will be based on the degree of accuracy in applying the MLA Style to the various parts of the thesis.

【テキスト】 Reference : *MLA Handbook for Writers of Research Papers*, Fifth Edition (1999).

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14533	英語英文学研究法Ⅱ 3	選必	秋学期	1	4	山 崎 勉
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 卒業論文の作成

【講義内容】 卒業論文とは如何なるものかということを先ず理解してもらい、論の進め方を初めとするその一般的な構成法について説明する。その後、各自の選んだ作家及び作品、論文のテーマに関する指導を行う。

【講義計画】 個人面接を中心とした指導を旨とする。

【評価方法】 平常点。

【テキスト】 『MLA英語論文の手引』（第3版）〔北星堂書店〕

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14534	英語英文学研究法Ⅱ 4	選必	秋学期	1	4	武 田 悠 一
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 卒業論文を作成するための指導をします。“MLA style”による英語論文の書き方の習得と、各自が選んだテーマにそくした論文の構成と内容についての検討を行います。

【講義計画】 論文作成についての具体的な説明、参考文献の検討、論文テーマに関する学生の発表を行います。そのうえで、論文原稿の添削と個人指導をします。

【評価方法】 発表、レポートと卒業論文によって総合的に評価します。

【テキスト】 *MLA Handbook for Writers of Research Papers*, Fifth Edition (1999)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14535	英語英文学研究法Ⅱ 5	選必	秋学期	1	4	玉 崎 孫 治
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 英語学研究方法と論文作成

【講義内容】 英語学研究のポイント、方法、研究成果の発表の仕方を年間を通じて段階的に指導する。

【講義計画】 英語論文作成のポイントを講義と実習で習熟させ、学生個人の卒業論文テーマに合わせて、各自の参考文献の検討を含めた具体的な研究方法の指導を行う。

【評価方法】 小テスト、実習結果の提出、参考論文の理解度等を総合判断して評価する。
欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリント、および市販のテキスト。(未定)

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14536	英語英文学研究法Ⅱ6	選必	秋学期	1	4	日 野 水 憲
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 卒業論文の書き方

【講義内容】 卒業論文の作成と内容の検討に時間をかける。もっぱら個人指導による各人の問題意識の深化と議論展開を重視する。また近年の研究論文の検討をも重視する。

【講義計画】 個人指導を中心に行う。毎週の面談で進行状況を把握する。ただし、春学期にも個人指導を行う。

【評価方法】 毎週のレポートと卒業論文との総合評価。

【テキスト】 *MLA Handbook for Writers of Research Papers, Fifth Edition.*

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14537	英語英文学研究法Ⅱ7	選必	秋学期	1	4	鈴 木 達 也
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 読者によって伝わるイメージが大きく異なる文学作品とは違い、論文は、著者の主張がすべての読者に単一的且つ明確に伝わらなくてはならない。論文執筆上の基本的ルールの修得はもとより、いかに明確に議論を進めていくか、またパソコンなど論文執筆の際に手助けとなる道具をいかに上手に活用するかについて、説明、実習を行います。

【講義計画】 言語学論文作成のためにパソコンを有効利用するノウハウについて説明、実習した後、各自の卒論テーマに関する発表・ディスカッションを行います。

【評価方法】 発表、ディスカッション、レポート等の成績を基に総合的に判断します。

【テキスト】 適宜指定

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14601 14611	英語学特殊講義AⅠ1・AⅡ1	選	春学期 秋学期	各2	3・4	天 野 政 千 代
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 現代英語構文論

- 【講義内容】 地球の共通語とも言われているが、英語には例えば疑問文や否定文に現れる助動詞のdoのように、親戚関係にあるドイツ語やフランス語にも見られない様々な興味深い特性がある。この講義ではそうした特性の具体例を挙げながら、生成文法理論を背景に、現代英語がなぜそうした特性を持つに至ったかを論じる。
- 【講義計画】 助動詞、動詞、名詞、形容詞、副詞、接続詞、前置詞、限定詞など主な文法事項を順に取り上げ、まず伝統的な視点から基本的事実を解説し、次に生成文法論に基づいた説明を試みる。そこから人間の言語能力や言語習得能力に迫り、言語普遍性との関連についても論ずる。授業は講義が中心となるだけに、一方通行にならないよう積極的な質問を大いに歓迎する。
- 【評価方法】 各期末に筆記試験を行う。授業に毎回出席し、きちんとノートを整理しておけばできるテストである。講義中に積極的に質問したり、意見を述べたりする人に高い評価を与えることは言うまでもない。
- 【テキスト】 こちらで資料をすべて用意するので、テキストは不要。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14602	英語学特殊講義AⅠ2	選	春学期	2	3・4	有 元 将 剛
他の科目との関連						他学科履修可

- 【講義内容】 外国語学部英米科開講科目31613「英語統語論」を参照。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14603 14613	英語学特殊講義AⅠ3・AⅡ3	選	春学期 秋学期	各2	3・4	村 杉 恵 子
他の科目との関連						他学科履修可

- 【講義内容】 外国語学部英米科開講科目31625「英語学特殊研究1」、および、31626「英語学特殊研究2」を参照。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14612	英語学特殊講義AⅡ2	選	秋学期	2	3・4	松 永 隆
他の科目との関連						他学科履修可

- 【講義内容】 外国語学部英米科開講科目31695「英語教授法」を参照。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14631 14641 14661 14665	英文学特殊講義AⅠ1・AⅡ1 比較文化論AⅠ1・AⅡ1	選 選	春学期 秋学期	各2	3・4	荻 野 昌 利
他の科目との関連						他学科履修可

- 【副 題】 英文学と絵画

【講義内容】 英文学が絵画にどのような影響を受けたか、また英国絵画がどのように文学の影響を受けてきたか、その交流の歴史を18世紀から説き起こし、20世紀初頭まで、具体的にいくつかの事例を挙げて解説する。例えば18世紀田園詩とオランダ風景画、Richardson, Fieldingなどの小説とHogarthの風俗画、Byron, Keatsなどの19世紀ロマン主義文学と同時代のTurner, Constableなどの絵画、Wildeなどの世紀末の文学とBeardsleyなどの美術との関係など。

【講義計画】 春学期は18・19世紀前半まで、秋学期は19世紀半ばより20世紀初頭まで、文献資料とヴィジュアルな資料を交えて、それぞれの特徴的な局面を選んでできる限りわかりやすく解説する。

【テキスト】 プリントを随時配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14632 14642	英文学特殊講義AⅠ2・AⅡ2	選	春学期 秋学期	各2	3・4	鈴木 孝夫
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 シェイクスピアと文豪たち

【講義内容】 文豪が文豪を語るとき、その発言は偏見に満ちているが、そこには自ずからなる重みがある。本講は、英独仏の文豪のシェイクスピア受容を紹介し、彼らの礼賛や批判を掘り下げて、シェイクスピア文学の本質に迫ろうとするもの。各章では、各文豪のシェイクスピア論に入る前に、発言の背景となった歴史的・文学的状况を解説する。

【講義計画】 () 内は各章に費やす予定授業数を記す。
 1) ミルトンとドライデン：シェイクスピア崇拜と擬古典主義の狭間で (4)
 2) 青年期のゲーテ：ドイツ近代文学のモデルを求めて (6)
 3) 晩年のゲーテ：世界文学へ向けて (2)
 4) スタンダールとユゴー：教条主義排斥とロマン主義宣伝 (5)
 5) トルストイ：愚直な巨人の説く〈墮落したシェイクスピア劇〉 (5)
 6) バーナード・ショー：戦略としての偶像破壊 (2)

【評価方法】 定期試験の成績による。

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14633 14643	英文学特殊講義AⅠ3・AⅡ3	選	春学期 秋学期	各2	3・4	SELAND John
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 Special Lecture: Waugh & Golding: Literary Appraisals of Man & Society

【講義内容】 This course will examine the novels of two English writers from much different backgrounds, but with quite similar views about life and the values of modern society: Evelyn Waugh (1903-1960) and William Golding (1911-1993). Waugh was the great satirist, burlesquing what he saw as the chaos of modern life. Like Waugh, Golding was also a moralist, but his metier was fable, rather than satire or realistic impressions of life.
 One of the questions we shall try to answer is, Did either, or both, of these writers see man today as lost and a prey to his passions, or did they find reasons for hope?

【テキスト】 *Brideshead Revisited* (1945), Evelyn Waugh, Penguin
Lord of the Flies (1954), William Golding, Riverhead

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14634 14644	英文学特殊講義AⅠ4・AⅡ4	選	春学期 秋学期	各2	3・4	山 崎 勉
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 Charles Dickensの初期の作品における諸問題

【講義内容】 Dickensが20代の時に書いた随筆、短編小説、そして長編小説に窺われる諸相について語りたい。これらの作品に影響を与えた時代、そして、その精神、また、同様な役割を果たしたDickensの少年期及び青年期の体験を分析するとともに、彼の小説家としての手腕が如何に育まれていったかということを検証する。

【講義計画】 春学期： *Sketches by Boz*から*Oliver Twist*までの作品の分析。
秋学期： *Nicholas Nickleby*から*Barnaby Rudge*までの作品の分析。

【評価方法】 学期毎のレポート。なお、欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 プリント。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14635 14645	英文学特殊講義AⅠ5・AⅡ5	選	春学期 秋学期	各2	3・4	小 林 かおり
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 シェイクスピア上演史

【講義内容】 シェイクスピア劇のおもしろさを、テキストだけではなく、ビデオ・画像などを使って楽しむ。テキストを読んだ後、それが、それぞれの社会・文化的背景の中で、どのように上演されてきたかをいっしょに学んでいく。

【講義計画】 春学期
春学期は初期の喜劇『じゃじゃ馬ならし』をじっくり読む。当時の家父長制度や結婚制度などを学び、女性の置かれていた状況を理解する。

秋学期
『じゃじゃ馬ならし』の16世紀から現代までの上演史を追う。とくに、女主人公ケイトの表象の歴史を女性の表象の歴史と比較しながら検討する。

【評価方法】 出席重視。試験の代わりにレポートを実施する予定。グループごとの発表やディスカッションも評価の対象。

【テキスト】 ウィリアム・シェイクスピア作、小田島雄志訳、『じゃじゃ馬ならし』（白水Uブックス、1986）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14636 14646	英文学特殊講義AⅠ6・AⅡ6	選	春学期 秋学期	各2	3・4	中 村 栄 造
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 Nathaniel Hawthorneの短編研究
～男性主人公の主体形成を巡って～

【講義内容】 この授業では、19世紀前半のアメリカ文学の重要な一角を占めるNathaniel Hawthorne (1804-1864) が描いた代表的な短編を取り上げ、男性主人公（あるいは視点人物）の意識形成に影響を及ぼしたさまざまな力学を考察の対象とする。その際、ホーソーンの価値観、歴史観、芸術観、ジェンダー観（成熟した女性と未熟な男性）などの問題を、作家の想像力、同時代の社会・家庭を中心に成立しつつあった（ジェンダー）イデオロギー、また当時の疑似科学、文化現象を視点に読み解いていく。

授業では、*Nathaniel Hawthorne · Selected Tales and Sketches* (Penguin Classics) をテキストとして利用する。そこに収録された作品から、適宜、重要部分を取り出し、精読した上で問題点を議論していく。また、必要に応じてW. Irving、Poe、Melville、Emerson、Thoreauなどの作家、思想家の文章、批評家の見解などを紹介していく。（テキスト以外はすべてプリントで配布。）小テスト（確認テスト）を授業3回につき1度行う。また、試験とは別に春学期・秋学期に1度ずつレポートを課す。

【講義計画】 春学期に主に扱う作品とテーマ

“Monsieur du Miroir”：近代とホーソーンの芸術観（イントロダクションとして）／“The Celestial Railroad”：超絶主義の諸問題／“The May-Pole of Merry Mount”、“Endicott and the Red Cross”：日常と祝祭空間、そしてピューリタニズム／“My Kinsman, Major Molineux”：国家と個人のイニシエーション／“Roger Malvin’s Burial”：（逆）エディプス・コンプレックス／“Ethan Brand”：メスメリズムと許される罪／“The Birth-mark”：科学者エイルマーの解剖願望／“Minister’s Black Veil”、“Egotism; or, The Bosom Serpent”：原罪、そして牧師のヴェールと胸の蛇

秋学期に主として扱う作品とテーマ

“Mrs. Hutchinson”：女性作家たちそしてフェミニズムの問題／“Wakefield”と模範的な妻／“The Haunted Mind”、“Night Sketches”：芸術家の孤独と妄想／“Alice Doane’s Appeal”：魔女裁判、そして近親相姦の夢と想像力／“Young Goodman Brown”：魔女裁判、幽霊ショー、ファンタスマゴリア、想像力、／“The Artist of the Beautiful”：ひ弱な時計職人と頑強な鍛冶屋／“Rappaccini’s Daughter”：想像力の暴走

【評価方法】 定期試験、レポート、小テスト、出席回数を総合して評価する。

【テキスト】 *Nathaniel Hawthorne · Selected Tales and Sketches* (Penguin Classics)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14681	比較文化特殊講義AⅠ 1	選	春学期	2	3・4	小 池 英 光
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 文学部哲学科開講科目11681「哲学史特殊講義DⅠ」を参照。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
14682 14686	比較文化特殊講義AⅠ 2・AⅡ 2	選	春学期 秋学期	各2	3・4	横 山 輝 雄
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 (AⅠ) 動物観の比較文化
(AⅡ) 英語による日本文化表現

【講義内容】 (AⅠ) 動植物は、人間とさまざまなかわりをもっている。とりわけ一部の動物は、しばしば「擬人化」されて、人間社会に対する「教訓」がそこからひき出されたりする。今日の科学からすると誤りとされることも、かつてはそれが事実だと思われており、しかもそうした場面での解釈のし方には文化の違いが反映する。そのことについて欧米と日本における動物観を比較文化的に検討する。

(AⅡ) 日本人ならば日本文化についてよく知っており、外国人に説明できるとは限らない。それも高尚な文化についての専門的知識の場面ではなく、より日常的、基本的な事柄についてそうなのである。その理由は、あまりに身近なものは主題的に考察されないことが普通だからである。また日本の歴史上の事実などについて知っていてもそれがどのような文化的な意義があるかについて比較文化的に検討されることもあまりなかったからである。こうした点について明らかにしたい。

【講義計画】 (AⅠ) イギリスにおける近代の動物観を、文学、科学、俗信などについて検討し、あわせてヨーロッパ的な動物観について明らかにする。イギリスの人の動物愛護などは、実は19世紀に誕生したものである。次に、日本人の動物観を文学や伝承なども含めて検討し、両者の違いを考える。また、そうしたことが、近代論の理解にどのような形で反映しているかをも明らかにする。

(AⅡ) 新渡戸稲造の『武士道』や内村鑑三の『代表的日本人』は、100年以上前に書かれたものであるが、今日でも読まれている。これらはもともと英語で書かれたものであり、日本語のものはその「翻訳」である。こうした著作において、日本の文化がどのように理解され、またどのように英語で表現されているかを検討し、英語による日本文化の表現について比較文化的に明らかにする。

【評価方法】 定期試験（筆答）を中心とする。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
14685	比較文化特殊講義AⅡ 1	選	秋学期	2	3・4	小 池 英 光
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 文学部哲学科開講科目11685「哲学史特殊講義DⅡ」を参照。

文 学 部

仏語学仏文学科

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15145	フランスの文化と社会Ⅳ	必	秋学期	1	3	倉 田 信 子
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 フランス美術史

【講義内容】 「フランスの文化と社会」では、フランス文学・語学・思想の生まれた土壌であるフランスの社会と文化を多角的に理解することを目指し、2年間にわたり、フランスの現状、地理、歴史、社会、文化、芸術などを講義する。Ⅳでは芸術を扱う。

【講義計画】 中世から現代までのフランス芸術をスライドを示しながら説明する。日程は講義初日に配付する。

【評価方法】 毎回、その日の講義のまとめを提出し、これを平常点とする。さらに定期試験を行なう。

【テキスト】 プリント配付。参考文献は毎回指示する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15211 15215	フランス語Ⅲ・Ⅳ和文仏訳	必	春学期 秋学期	各1	3	COURRON David
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【講義内容】 日常生活に密着した表現をフランス語に訳す練習を行なう。語彙を増やす、フランス語の文法のメカニズムを理解する、日本語とフランス語の論理と特徴の違いについて分析力を養うことを3つの柱とする。

【講義計画】 一文につき一つの文法テーマを含んだ短文を毎回10題ほどフランス語に訳してきてもらい、教室で添削を行なうのに加え、新聞記事の翻訳を毎回1段落ずつ行う。

【評価方法】 ふだんの授業態度と学期末試験による。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 未定

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15221	フランス研究序説	必	春学期	2	3	丸 岡 高 弘
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【講義内容】 佐藤信夫『レトリック感覚』をテキストにし、修辞学、とりわけフィギュールに関して、フランス語の文例を補いながら、学習し、3、4年次におけるより深い文学研究の基礎について学ぶ。

【評価方法】 学期末に筆記試験を課する。

【テキスト】 佐藤信夫『レトリック感覚』講談社学術文庫

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15231 15235	フランス語Ⅴ・Ⅵ文法	必	春学期 秋学期	各2	3	練 尾 毅
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 フランス文法の諸問題

【講義内容】 主に冠詞、前置詞、動詞に関わる諸事実を扱った練習問題を解きながら、外国語としての現代フランス語の基本的な仕組み（文法）の理解を目指す。

【講義計画】 ◇春学期：
 1. 名詞と冠詞
 2. *C'est* と *il est*
 3. 前置詞 *à* と *en*
 4. 時制（1）
 5. 時制（2）
 6. 代名動詞
 ◇秋学期：
 7. 近接未来形
 8. 複合過去形
 9. 半過去形
 10. 大過去形
 11. 単純未来形、前未来形
 12. 条件法

【評価方法】 平常点と筆記試験

【テキスト】 Maïa GRÉGOIRE et Odile THIÉVENAZ, *Grammaire progressive du français avec 500 exercices. Niveau intermédiaire*. Paris : CLE International, 1995. 92 F [約 1,380円] .

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15251 15261 15271 15281	仏語仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	3・4	真 野 倫 平
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 フランス歴史学

【講義内容】 歴史は人間が作るものであり、それ自体歴史的な存在である。この授業では歴史作品の読解を通じて、人間が過去を語ることの意味について考えたい。歴史作品を、それが制作された状況と照らしながら読むことによって、歴史が常に現在との関連で作られることを検証したい。

【講義計画】 17世紀から20世紀にいたるさまざまな歴史家（あるいは哲学者、作家）のテキストを取り上げ、歴史に関するいくつかの問題について考えたい（歴史に目的はあるのか、偶然はあるのか、歴史における個人の役割は何か、等々）。履修者は同時に、卒業論文の作成をめざして、各自の問題意識に応じた研究テーマを見つけ、発展させること。

【評価方法】 平常点ならびにレポート

【テキスト】 プリントで配布

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
15252 15262 15272 15282	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	3・4	丸 岡 高 弘
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 19世紀の文学と社会

【講義内容】 近年、フランスの一九世紀の社会や文学と社会の関わりに関するすぐれた研究書、概説書、エッセーが数多く翻訳されたり、日本人研究者によって書かれたりしている。本演習ではそうした書物を学生諸君に精読してもらい、その内容を発表してもらう。またそうした事柄をテキストで確認するために一九世紀文学のアンソロジーを講読する。

【評価方法】 授業中での発表、授業への積極的な参加とレポート

【テキスト】 *L'Esthétique romantique en France: Une anthologie*, Textes choisis et présentés par Claude Millet, éd. Pocket, coll. 《Agora, les classiques》
日本語の参考文献に関しては授業の最初に文献表を配布する

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
15253 15263 15273 15283	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	3・4	SCHUBERT Johannes
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 L'image de la femme dans l'oeuvre d'André Gide

【講義内容】 On essaiera de montrer qu'au début du vingtième siècle l'auteur prévoyait déjà la position émancipée de la femme de nos jours. Les personnages féminins, bien que moins nombreux que les hommes, sont doués des mêmes facultés intellectuelles et spirituelles que la plupart des héros masculins.

【講義計画】 Au premier semestre on lira et discutera une centaine de pages du “Journal” et de ses écrits autobiographiques.
Au deuxième semestre on examinera le problème du féminisme en lisant en entier “L'Ecole des Femmes”.

【評価方法】 Un test à la fin de chaque semestre ainsi que des présentations en classe au cours de l'année serviront de base pour établir la note finale

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
15254 15264 15274 15284	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	3・4	栗 須 公 正
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 エミール・ゾラにおける文学と絵画

- 【講義内容】 本演習では、フランス近代小説研究の一環として、ゾラ『制作』を読む。ゾラはこの小説で、19世紀後半のバリを舞台に、ひとりの才能ある画家が新しい絵画の流れのなかで苦闘する姿を描いている。ゾラ的美術批評、セザンヌ、マネなど同時代画家との交流はよく知られているが、印象派時代を背景としたこの作品を通じて、ゾラにおける文学と絵画の関係を考えてみたい。
- 【講義計画】 授業日程（初回配布）に基づき、テキスト講読、受講者の研究発表を行う。また、卒業論文指導、レポート指導も行う。
- 【評価方法】 最終のレポートおよび授業における講読、発表、出席状況など総合的に評価する。
- 【テキスト】 1) Zola, *L'Oeuvre*, classiques de Poche, 1996. Edition de Marie-Ange VOISIN-FOUGERE.
2) エミール・ゾラ『制作』上下、岩波文庫（清水正和訳）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15256 15266 15276 15286	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	3・4	倉 田 信 子
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 バロック論

【講義内容】 フランス・バロックの精髓、ヴォー・ル・ヴィコントを扱う。この城はそれ自体、庭園・建築・内部装飾（絵画・彫刻を含む）が一体化した見事な総合芸術である。城主フーケは文芸の保護者として有名で、モリエールやラ・フォンテーヌなど後のフランス古典主義を代表する芸術家たちが彼のもとに集い、創作を行なっている。また、ブルジョワジー出身で財務長官となったフーケの栄光と失脚は、絶対主義王政とブルジョワジーとの協調しつつ対立する微妙な関係を象徴している。つまり、ヴォー・ル・ヴィコントは、フランス・バロックの政治と文学と芸術の接点となっているのである。この点に注目しつつ、ヴォーを軸に、文学とそれを取り巻く政治・文化を総合的に扱う。

【講義計画】 本年度の演習は大きく三つに分けられる。1) 芸術作品としてのヴォー・ル・ヴィコント、2) 17世紀前半の政治史としてのフーケの生涯、3) ヴォー・ル・ヴィコントに集まった文学者たちと、ヴォーに関連した文学作品である。資料の講読と講義を組み合わせる展開する。また、これと並行して、学生による発表や論文指導を行なう。日程は講義初日に配付する。

【評価方法】 平常点、レポート、筆記試験。

【テキスト】 プリント配付。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15257 15267 15277 15287	仏語学仏文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	3・4	練 尾 毅
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 フランス語学の諸問題

【講義内容】 統語論的、意味論的および語用論的視点から動詞に関わる諸事実（特に、時制、アスペクト、モダリティの問題）を考察しながら、フランス語の仕組みの理解をめざす。

【講義計画】 ◇春学期：
1. 動詞の性質
2. 態（ヴォイス）

3. 代名動詞
4. 非人称動詞
5. 助動詞
6. 直説法現在形, 複合過去形
- ◇秋学期:
7. 直説法半過去形, 単純過去形
8. 直説法大過去形, 前過去形
9. 直説法単純未来形, 前未来形
10. 条件法
11. 命令法
12. 接続法

【評価方法】 平常点, レポートおよび筆記試験

【テキスト】 目黒士門, 『現代フランス広文典』, 白水社, 2000年, 3,600円

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15401 15402	フランス文学史	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	栗 須 公 正
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 フランス文学名作の流れを追って

【講義内容】 中世から現代に至るフランス文学の流れを時代背景とともに把握する。なるべく個々の作品に触れるようにしたい。

【講義計画】 春学期
 (1)中世 (2)16世紀(ラブレー、ロンサール、モンテーニュ)
 (3)17世紀(古典主義文学) (4)18世紀(啓蒙主義文学)
 秋学期
 (1)19世紀(ロマン主義文学、写実主義文学、自然主義文学、近代詩)
 (2)20世紀(世紀前半の文学、実存主義文学、現代の文学)

【評価方法】 授業への参加状況(発表、レポートなど)と定期試験による。

【テキスト】 『くブレシ』フランス文学史』 駿河台出版

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15405	フランス文法論	選必	春学期	2	3・4	奥 田 智 樹
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 フランスで出版されている中級程度の問題集を用いて、学生諸君がこれまでに身につけてきたフランス文法の知識をより精緻なものにし、同時にいわゆる伝統文法では納得のいく説明が得られない言語現象が多数あることを知ってもらい、そういった現象にも対応し得る文法記述の枠組みについて検討する。

【評価方法】 平常点と定期試験による。

【テキスト】 M. GREGOIRE, O. THIEVENAZ : *Grammaire progressive du français avec 500 exercices*, Cle International, 1995

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15411 15412	フランス語作文	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	REBOLLAR Patrick
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 《Écrire en français: les genres textuels》

【講義内容】 Pratique du commentaire de documents, de l'oral vers l'écrit, pour apprendre à commenter avec clarté, à organiser sa pensée, à présenter ses idées.

【講義計画】 Plusieurs types de documents seront étudiés: des images au premier semestre (caricature de presse, bandes-dessinées, affiches publicitaires), et des textes au second semestre (article de journal, poème, conte, journal intime, etc.) La description orale du document sera faite en classe, puis des éléments d'argumentation et d'analyse seront proposés pour la rédaction de textes individuels.

【評価方法】 examen de fin de semestre, + 2 ou 3 notes de compositions préparées à la maison. Assiduité recommandée.

【テキスト】 photocopies distribuées (pas de livre à acheter), classe avec vidéo-projecteur.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15413 15414	フランス語作文	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	COURRON David
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15416	フランス語史	選必	秋学期	2	3・4	奥 田 智 樹
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 中世から近代に至るフランス語の代表的な文章の講読を通じて、語彙と文法の両面からフランス語の変遷について検討する。絶えずフランス史を織り交ぜて、個々の文章の時代背景についても考察するつもりである。

【評価方法】 平常点と定期試験による。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15421 15422	フランス思想講読	選必	春学期 秋学期	2	3・4	浜 名 優 美
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 マクドナルドの進出に抗議する農民が店を破壊し、逮捕されるという事件がフランスでは起きているが、経済のグローバリゼーションが進むなかで、フランス人はこの農民に比較的好意的である。この一例に見られるようなグローバリゼーションとの衝突はきわめてフランス的であると言える。そのようなフランス

的なものとはなにかをグローバリゼーション、資本主義、市場主義などを通して思想的にとらえようとするのがこの講読のねらいである。

- 【講義計画】 (春学期) Alain Minc, *www.capitalisme.fr*, を毎回 4 - 5 ページずつ輪読しながら、フランスの経済学者の考える資本主義の特質、グローバリゼーションの問題を考える。経済用語や哲学・思想用語をフランス語で日常的に使えるように訓練する。
(秋学期) テキスト未定だが、資本主義の歴史をフランスの思想家、経済学者、歴史家の著作をもとに考察する。2 学期継続して受講すれば、経済思想を論じるのに十分な語彙が習得可能である。

【評価方法】 ふだんの講読での発表態度ならびに学期末の定期試験による (欠席過多を適用する)。

【テキスト】 Alain Minc, *www.capitalisme.fr*, Grasset, 2000.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15423 15424	フランス思想講読	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	大久保 泰甫
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 フランス革命の制度とその思想

【講義内容】 Jean-Jacques Chevallier の書物 (下記参照) をテキストとして、その該当部分を講読していくが、同時に、同書中で言及されている法令等 (権利宣言、憲法) も取り上げたい。テキストの著者は、かつてパリ大学法経学部、パリ政治学院の教授をつとめ、学士院会員にも選ばれた人である (すでに故人)。したがって、フランスの法学・政治学の教育機関において、フランス革命がどのような立場からどのように教えられているかを知ることができる。

【評価方法】 学期末試験および授業中の訳読の成績による。

【テキスト】 Jean-Jacques CHEVALLIER, *Histoire des institutions et des régimes politiques de la France de 1789 à nos jours*. プリントを配布。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15431 15432	フランス語学講読	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	飯野 和夫
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 18世紀フランス語学講読

【講義内容】 コンディヤック Condillac, Etienne Bonnot de (1715-1780) の『文法 Grammaire』から、フランス語を実際に分析した第二部「言説の要素」を読む。「言説の要素」とは品詞、時制、法、活用、統辞法などを指している。コンディヤックはおよそ10年にわたってパルマ公国の王子の家庭教師を務め、その成果を大部の『パルマ公王子教育のための教程』(1775) として刊行したが、これはフランス政府によるフランス語教育改革にも影響を与えたとされている。『文法』はその一部をなす著作である。

【講義計画】 『文法』はいわゆる「教科書」であることもあり明晰で平易な文章でつづられている。講読を通してフランス文法研究の創成期の事例にふれ、現代の見方との差なども検討したい。

【評価方法】 平常点と定期試験。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
15441 15442	フランス文学講読	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	SCHUBERT Johannes
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 Dégustation du Théâtre français

【講義内容】 Après avoir donné le résumé d'une pièce de théâtre en entier on essaiera de comprendre les scènes culminantes de la pièce en question. Ainsi les étudiants, au cours d'une année, pourront goûter d'un drame de l'époque classique, d'une pièce romantique, d'une comédie moderne ainsi que d'une pièce de nos jours.

【講義計画】 On expliquera chaque semaine une scène de 4 à 5 pages en détail, suivie d'une lecture déclamatoire de cette scène ce qui servira à perfectionner la prononciation et l'intonation. On insistera également sur l'acquisition des expressions utiles à la conversation de tous les jours.

【評価方法】 Chaque étudiant sera amené à jouer un petit rôle dans une ou deux scènes. Un compte rendu de deux ou trois pages sur cette scène servira de complément pour établir la note finale.

【テキスト】 Feuilles copiées.

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
15443 15444	フランス文学講読	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	丸 岡 高 弘
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 マルセル・エーメを読む

【講義内容】 20世紀屈指のストーリー・テラー、マルセル・エーメの中編小説集『壁抜け男』を読む。壁を通り抜ける超能力をもってしまった男（「壁抜け男」）や同時にさまざまな場所に出現する能力をもった女性の物語（「サビナの女」）、そして社会に不要と判断された人間に間欠的死を命じる社会を描く中編（「カルト」）など、幻想的リアリズムと評されるエーメの小説を味読する。

【評価方法】 授業への積極的な参加と期末筆記試験

【テキスト】 Marcel Aymé, *Le passe-muraille*, Gallimard, 《folio》

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
15451 15452	フランス思想特殊講義	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	真 野 倫 平
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 フランス思想の諸問題

【講義内容】 フランス思想における重要なテーマ、あるいは重要な思想家を取り上げて論じる。

【講義計画】 〔春学期〕フランスにおける女性像の変遷について。中世の宮廷風恋愛、近代のサロン文化、現代のフェミニズム運動など、女性に対するイメージは時代や立場によって大きく異なる。ここでは、女性について書かれたいくつかのテキストを講読し比較することによって、問題をできるかぎり多面的にとらえるよう努めたい。ルソー『エミール』、ミシュレ『愛』、ボーヴォワール『第二の性』などを取り上げる。
〔秋学期〕サルトルの思想について。戦後実存主義の流行とともに一世を風靡したサルトルであるが、構造主義の台頭とともに多くの批判を浴び、今日その権威は大きく失墜したように見える。ともあれ、彼

が良くも悪くもフランス思想の一時代を体现する巨人であることは疑いない。さまざまなジャンルにおいて活躍した彼の業績を振り返り、その思想の意義と限界について考えたい。小説『嘔吐』、演劇『悪魔と神』、評論『文学とは何か』などを取り上げる。

【評価方法】 平常点ならびにレポート

【テキスト】 プリントで配布

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15454	フランス思想特殊講義	選必	秋学期	2	3・4	大久保 泰甫
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 フランス民法典（ナポレオン法典）——成立過程と内容——

【講義内容】 歴史家ジュール・ノラ編の7巻本 LES LIEUX DE MÉMOIREの中で、フランス民法典がひとつの項目として取り上げられている。つまり、それは、国民（Nation）として一体化されたフランス全体社会の土台をなすものである。法や法典といえば、文学部の学生にはなじみの薄いものという印象があるが、民法は日常生活のルールを定めたもので、フランス人の考え方や行動と結び付き、これを大きく規定しているものである。

1804年にナポレオンによって制定されたこの法典は、いかなるプロセスを経て成立したのか、起草したのはどのような人々か、また、それはどのような内容を持ち、どのような人間観や思想に基づいているのか等の問題を明らかにしていきたい。

【講義計画】 講義の最初の部分で、まず民法典の成立過程について、ごく概略を講述し、その後は下記のテキストの読解を中心としつつ、他の文献も紹介し、異なった lecturesのあることをも示したい。

【評価方法】 平常点ならびにレポートによる。

【テキスト】 Jean-Louis HALPÉRIN, Le Code civil, Dalloz, 1996. プリントを配布。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15461 15462	フランス語学特殊講義	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	練 尾 毅
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 現代フランス語文法

【講義内容】 主として（1）冠詞（定冠詞、不定冠詞、部分冠詞、無冠詞）、（2）動詞（直説法現在形、複合過去形、半過去形、単純過去形、未来形、条件法、受動態など）に関わる諸事実を具体例に則して考察する。文法的理解を深め、フランス語の運用力を身につけるため、講義と平行して練習問題を課す。

【講義計画】 ◇春学期：
 1. 定冠詞、不定冠詞
 2. 部分冠詞、無冠詞（ゼロ冠詞）
 3. 直説法現在形、半過去形
 4. 複合過去形、単純過去形
 5. 未来形
 6. 条件法
 ◇秋学期：
 7. 受動態
 8. 代名動詞
 9. 非人称構文
 10. 間接話法、時制の一致
 11. 前置詞（1）

12. 前置詞（2）

【評価方法】 平常点と定期試験

【テキスト】 Michèle BOULARES et Jean-Louis FRÉROT, *Grammaire progressive du français avec 400 exercices. Niveau avancé*. Paris : CLE International, 1997. 79 F [約 1,185円] .

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15471 15472	フランス文学特殊講義	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	栗村 道夫
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 フランス文学における聖書 ——ポール・クローデルの場合——

【講義内容】 「カトリック教会の長女」と言われるフランス、その文学を研究するにはキリスト教の伝統や文化的背景の理解が必要であり、そのためにはまず「書物中の書物」である聖書を念頭に置くことが大切である。生涯にわたり心の糧として聖書を愛読し、探求し、創作に生かした劇詩人ポール・クローデルの作品の中から、特に以下のテキストを取り上げ、創作の原動力となった聖書との密接な関わりを追究してみたい。
L'Histoire de Tobie et de Sara, moralité en 3 actes. 三幕寓意劇『トビアとサラの物語』（1938年作）と旧約聖書の『トビト記』との比較。

【講義計画】 先ず、クローデルの晩年のエッセー *J'aime la Bible*（1955年発行）の冒頭部分を取り上げ、クローデルの大学生時代パリ、ノートルダムで回心した直後に読んだ聖書（特に『箴言』第8章「知恵の勧め」、および『ルカ』第24章、「エマオに向かう弟子に現れたキリストの話」）がその後の文学創作に及ぼした影響を記述したエッセーを分析する。次に、上記の劇作品解釈に際して聖書に由来する発想と題材が如何に重要な意味を持っているかを具体的にテキストを講読しながら考究する。
秋学期に時間があれば、クローデルが聖書に着想を得た他の作品の抜粋を講読する。

【評価方法】 出席状況と期末試験により総合的に評価する。

【テキスト】 最初の授業中に教材を頒布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15473 15474	フランス文学特殊講義	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	SCHUBERT Johannes
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 La morale chez François Mauriac et l'éthique d'André Gide

【講義内容】 Comparaison de quelques valeurs chrétiennes de Mauriac avec des propos humanistes d'André Gide.

【講義計画】 Au premier semestre on proposera des sujets de réflexion et de discussion qui se trouvent dans "*Les Cahiers d'André Walter*" de Gide d'un côté et dans "*Le Mystère Frontenac*" qui révèle les racines de la spiritualité mauriacienne.
Au deuxième semestre on comparera des pages de "*L'Immoraliste*" de Gide avec de courts extraits de "*La Pharisiennne*" de Mauriac.
Les étudiants auront en main le texte intégral de "*Le Mystère Frontenac*" et de "*L'Immoraliste*" tandis qu'on se contentera d'une vingtaine de pages choisies de "*Les Cahiers d'André Walter*" et de "*La Pharisiennne*".

【評価方法】 La note sera établie par la participation active au cours et par un compte rendu de 4 à 5 pages rédigées en français facile à la fin de chaque semestre.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年 次	担 当 者
15481 15482	フランス精神	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	飯野 和夫
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 フランス精神を古典的研究を手掛かりにして概観し、さらにその諸相を、実際に代表的な作家・思想家の著作にふれながら考える。

【講義計画】 フランス精神についての古典的研究——たとえばクルツィウスの『フランス文化論』など——を初めに一読し、次いで、フランス人の精神のいくつかの側面の典型をなしていると思われる作家・思想家に実際にふれてみる。論理的思考の原型を築いたと言えるデカルト、「繊細の精神」を擁護したパスカル、批判精神を体現したヴォルテール、人間心理の分析への道を開いたスタンダールを取り上げる。デカルト『方法序説』、パスカル『パンセ』、ヴォルテール『カンディード』、スタンダール『恋愛論』を翻訳を使って実際に読み、検討を加えたい。
前期はフランス精神についての概観と、デカルト、パスカルまで。後期はパスカル、ヴォルテール、スタンダールを取り上げる予定。

【評価方法】 受講者には実際に読書した内容を授業中に報告してもらう。この平常点と、学期末試験を総合して評価する。

【テキスト】 上記のものを使用するが、入手法等については別途指示する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年 次	担 当 者
15491 15492	フランス語会話 Va・VIa	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	MASSERON Jean F.
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 自分のことや身の回りのことを標準的なフランス語で話せるようになる

【講義内容】 このクラスでは次のような場面を想定する。
あなたがフランス人と出会う。そのフランス人はあなたにいろいろ質問する（勉強、家族、友人、好きなもの、アルバイトなどについて）。質問をよく理解し、正確にはっきりと敏速に答え、そして今度はあなたがその人に質問できるようにする。
授業は非常に簡潔で実用的な基本構文がもり込まれた会話のテキストに沿って行う。
1人1人の生徒が自分のことを話すのに必要とする語いを増やしていくことができるであろう。授業の中では積極的にどんどん話してみよう（2～3人のグループの中で又は先生と）。
またあらかじめその日のテーマについてよく考え、CDを聴いて十分な予習をして授業に臨むことが望ましい。

【講義計画】 テキストに準ずる。（24課）

【評価方法】 オラル試験（会話を想定）
・ 期末
・ 2～3人のグループ。
・ その期に学んだテーマについて。
尚、4回以上授業を欠席した生徒は試験を受けられない。

【テキスト】 *Conversations dans la classe*, de J-Luc Azra et Bruno Vannieuwenhuyse. Alma France-Japon éditeur (CD付)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15493 15494	フランス語会話 V b・VI b	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	COURRON David
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 未定

【講義内容】 未定

【講義計画】 未定

【評価方法】 ふだんの授業態度と学期末試験による。

【テキスト】 学年始めに指定する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15495 15496	フランス語会話 VII・VIII	選必	春学期 秋学期	各2	4	MASSERON Jean F.
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 自分の意見や思ったことを説明できるようになる。
日本の生活を簡潔に話せるようになる。

【講義内容】 授業では次のような状況を想定する。
あなたがフランスに行って、フランス人の生活習慣についての感想と日本での生活について問われる。
クラス皆でうまく相手に伝えるにはどんな方法が良いのか模索する。(言語的にも、又文化的にも)。
またイントネーションやジェスチャーなど言葉に伴うもの全てに気を遣ってみよう。

【講義計画】 学期の初めにフランス語圏に行ったことのある人達に対して出された質問から皆でその期に扱うテーマをいくつか決める。この授業ではあなたがフランス語圏の人にフランス語で言いたいこと、聞きたいことが題材の大部分になります。

【評価方法】 ・オラル試験
・期末
・授業の中で取り上げたテーマについての会話のシミュレーション
尚、半分以上授業に出ないと試験は受けられません。

【テキスト】 教材なし。まずはプリントやビデオやカセットから始める。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
15501 15502	和文仏訳	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	COURRON David
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
15503 15504	和文仏訳	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	清水ベアトリックス
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

- 【副 題】 Acquisition de mécanismes de traduction du japonais en français.
- 【講義内容】 On abordera une variété de documents de difficulté variable ; articles de journaux sur des sujets d'actualité, mais aussi bandes dessinées, poèmes, récits, publicités...
L'accent sera mis sur les points suivants :
- La maîtrise des règles de grammaire
- L'enrichissement du vocabulaire et le maniement des synonymes
- Les techniques de recherche pour la traduction
- 【講義計画】 Ce cours a pour but de permettre aux étudiants de former des parallèles entre le japonais et le français et de mettre en pratique certains automatismes de passage entre les deux langues.
Il sera demandé aux étudiants de réfléchir systématiquement sur les similarités et les différences qui existent entre le japonais et le français.
On abordera aussi les questions de style et les étudiants apprendront à travailler leur expression écrite.
- 【評価方法】 La notation prend en considération :
- La présence et la participation aux cours,
- La préparation et les devoirs,
- La note à l'examen final.
- 【テキスト】 Photocopies

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
15511 15512	時事フランス語	選必	春学期 秋学期	各2	3・4	塚田 澄代
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【副 題】 フランスの現代を読み、聞き、見る。
- 【講義内容】 ル・ポワン、レクスプレスなどフランスの代表的な雑誌、およびフランス2の衛星放送から、フランスの政治、経済、社会、芸術、その他の文化に関する記事やニュースを講読したり、実際に映像を見ながらヒヤリングの訓練をする。
- 【講義計画】 毎回雑誌とフランス2のニュースからそれぞれ1～2のトピックスをピックアップする。
ニュースに関しては教師が書き取ったテキストを用いて講読する。
- 【評価方法】 平常点（教室での訳読と出席点）および定期試験（筆記）。
- 【テキスト】 コピーを配布。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
15521	フランス語翻訳法	選必	春学期	2	3・4	丸岡 高弘
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【講義内容】 フランス語から日本語への翻訳の基礎技術を学ぶ。翻訳は技術的に学ぶことができるところもあるが、

広く、しかも深い教養が必要となる。実際に翻訳の作業をやりながら、文化の違いなどによって生じる翻訳の諸問題を理論的にも考察する。

【講義計画】 授業の進め方として、学生たちがあらかじめ課題テキストを訳してきたものを添削しながら行う。

【評価方法】 ふだんの翻訳力と筆記試験による。

【テキスト】 プリント配布の予定。

文 学 部

独語学独文学科

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16211 16215	上級ドイツ語作文・翻訳 I (A)・II (A)	必	春学期 秋学期	各2	3	HERBERG Dieter
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

- 【講義内容】 Fortgeschrittene Konversations-und Kompositionstübungen
Ausbildung aller Sprachfähigkeiten (Lesen, Schreiben, Hörverstehen und Sprechen) mit Schwerpunkt auf schriftlichen Übungen.
- 【講義計画】 Weiterführung des Sprachunterrichts im 1. und 2. Studienjahr.
- 【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Abschlußprüfung über den ganzen Lehrstoff.
- 【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache 2, Kursbuch, Arbeitsbuch, Hörkassetten, Ismaning 1995.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16212 16216	上級ドイツ語作文・翻訳 I (B)・II (B)	必	春学期 秋学期	各2	3	STEITZ Walter A
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

- 【副 題】 Fortgeschrittene Konversations-und Kompositionstübungen.
- 【講義内容】 Weiterführung des Sprachunterrichts aus dem 1. und 2. Studienjahr.
- 【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Semesterabschlußprüfung.
- 【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch 2 und Arbeitsbuch 2. Ismaning 1993.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16221 16225	上級ドイツ語講読 I・II	必	春学期 秋学期	各2	3	金 子 章
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【副 題】 ラジオ・ドラマ (I) ドイツ・アフォリズム (II)
- 【講義内容】 I: ラジオ・ドラマ: ゼルトヴィーラの町にくりひろげられる放火事件をめぐる一般市民、つまりわれわれがいだく良心の疚しさと無力をとりあげた寓意にみちたラジオ・ドラマ、「ビーダマンと放火犯」(1958)を速読する。
II: 女性、友愛、学校、ドイツ人などをテーマにした19、20世紀ドイツ・アフォリズムを精読する。
- 【評価方法】 筆答の定期試験と、授業中に担当する訳読などにもとづいて評価する。
- 【テキスト】 Iのテキスト「ビーダマンと放火犯」(第三書房824円)は紀伊国屋書店で購入できる。IIのテキストはプリント配布。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16251 16262 16273 16283	独文演習Ⅰ1・Ⅱ1・Ⅲ1・Ⅳ1	必	春学期 秋学期	各2	3・4	石 井 賢 治
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【講義内容】 2つ（以上）のことば（言語）を比較して、その類似点や相違点を明らかにしていく対照研究の具体的な方法を学ぶ。

【講義計画】 日本語とドイツ語（例えばマンハイムのドイツ語研究所の委託による日独対照研究の叢書やG. Stickelの独日対照研究など）あるいは日本語と英語（例えば國廣哲彌氏や久野暉氏の研究など）の対照研究などを参考に、日独語の対照研究の方法をさぐり、ゼミ生自身による対比を目標とする。

【評価方法】 定期試験をはじめ、レポート、出席状況なども考慮して評価する。

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16252 16263 16274 16284	独文演習Ⅰ2・Ⅱ2・Ⅲ2・Ⅳ2	必	春学期 秋学期	各2	3・4	金 子 章
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 ゲーテ時代における個人の心の表現

【講義内容】 18世紀後半、ドイツにおいて家と家族の新しい捉え方が生まれ、近代的個人が始まる。詩を中心にしてゲーテ時代の文学作品を読みながら、個人の心がどのように捉えられ表現されているか考えたい。愛、家族、自然、自我などをテーマにした作品をとりあげる。

【評価方法】 演習への参加と、提出されたレポートによって評価する。

【テキスト】 テキストはプリント配布。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16253 16264 16275 16285	独文演習Ⅰ3・Ⅱ3・Ⅲ3・Ⅳ3	必	春学期 秋学期	各2	3・4	SZIPPL Richard
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 日独交流史の研究

【講義内容】 本演習日本とドイツとの交流の歴史を研究対象とする。日独関係の歴史は実に長かく、とくに明治時代に交流が盛んであったが、この日独関係の中には、経済的・社会的な交流ばかりではなく、文化的・人物的な交流もあった。演習では、参加者が研究テーマを選択し、資料を集めて研究し、口頭発表、質疑応答、レポート作成などを通して、ドイツと日本との関係の歴史についての理解を深めていく。

- 【講義計画】 本演習では、下記の項目のもと、日独交流史を研究していく。
- (1) 日独交流史の概観
 - (2) 研究テーマの選択
 - (3) 研究方法の説明
 - (4) 口頭発表（質疑応答を含む）
 - (5) レポート提出
- 参加者が自分の研究分野だけでなく、皆のテーマに関心を持ち、幅の広い知識と理解を深めるために、発表の質疑応答への積極的な参加を期待する。
- 【評価方法】 演習時間内の参加姿勢、発表資料、発表内容、レポートから、総合的に評価する。
- 【テキスト】 プリントを配布するとともに、授業中に参考書を紹介する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16254 16265 16276 16285	独文演習Ⅰ 4・Ⅱ 4・Ⅲ 4・Ⅳ 4	必	春学期 秋学期	各2	3・4	生 野 芳 徳
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

- 【講義内容】 春学期の課題作品：B. Schlink: *Der Vorleser*（邦訳：『朗読者』）
- 1995年に出版されたこの小説は、ドイツでもアメリカでもベストセラーのひとつとなり、日本でも出版界のヒット商品になった。これだけ、多くの読者を得るということは、この作品が強いエンターテインメント性をもっている証左に他ならないが、それでも、これを単なる大衆小説として切り捨てるには、躊躇を感じる。
- ナチスやその犯罪的な行為に関することがらを、後代の作家がテーマとして取り上げることは、大変困難なことである。その困難な課題に、この作品が巧みに取り組んでいることも事実である。すでに、この作品については、日本でも賛否両論があるが、あえてこの作品を、演習の課題として取り上げるのは、出版以来5年を経て、その間に、さまざまな批評や、紹介がなされていて、ドイツのギムナジウムでは、国語の教材としても取り上げられており、ドイツの高校生の書いた書評や、テキスト分析の結果もインターネット上に掲載されている。このように、この作品の受容のあり方についての情報が豊富であることは、われわれにとっては、単に自分たちで作品の分析と解釈に折り組むだけでなく、ドイツや日本やアメリカなどで、この作品がどのように受け取られ、理解されているかを、同時代の読者として観察することができるといふ、ありがたい状況が提供されていることになる。

- 【講義計画】 演習の課題はしたがって、下記の3つである。
- (1) 作品テキストの精読
 - (2) 作品テキストの分析と解釈
 - テキストそのものの理解を自分の中に成立させること、
 - テキストの背景にある歴史的事実についても確認できるかぎり確認すること、
 - (3) この作品の受容の様態を批判的に観察すること
 - 書評、論文、その他を新聞、雑誌、インターネットなどから収集して検討すること。
 - (4) 自分の解釈を再検討すること。
- 演習Ⅱ、Ⅳ
秋学期の課題作品：Fr. Kafka: *Das Urteil, Die Verwandlung*
秋学期の演習は、4年次生はそれぞれの卒業論文の課題に取り組み、少なくとも2度の中間発表をすること。
3年次生は、上記の共通課題にとり組む。Kafkaの作品を対象として、テキスト分析と作品解釈の手順を具体的に学ぶ。同時に、4年次生の卒業論文の対象となる作品を読み、中間発表に際しては、質問や意見を遠慮なく出すことが期待される。

- 【評価方法】 演習の時間のテキストの読みと、討論への参加度や口頭発表および演習論文に基いて評価する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16256 16267 16278 16288	独文演習Ⅰ 6・Ⅱ 6・Ⅲ 6・Ⅳ 6	必	春学期 秋学期	各2	3・4	STEITZ Walter A
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 Lektüre zur Entwicklung der politischen Strukturen in der Bundesrepublik seit 1945.

【講義計画】 1.Das Grundgesetz und seine Verfassungsorgane
2.Das Wahlsystem und die Parteien
3.Föderalismus
4.Rechtsordnung
5.Öffentlicher Dienst
6.Medien

【評価方法】 Für Studierende des 8. Semesters bzw. 4. Studienjahr
Für Diplomanden

【テキスト】 Literatur: Staat, Wirtschaft und Gesellschaft in Deutschland.
Deutsche Fassung von Walter Steitz
Japanische Erläuterungen von Katsuhiko Naito, Yuji Hayashida
Yoshinari Inagaki und Menenori Suzuki
(Manuskript)

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16257 16268 16279 16289	独文演習Ⅰ 7・Ⅱ 7・Ⅲ 7・Ⅳ 7	必	春学期 秋学期	各2	3・4	HERBERG Dieter
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 Geschichte des deutschen Films von den Anfängen bis zur Gegenwart.

【講義内容】 Technische und künstlerische Entwicklung des Films seit Beginn des 20. Jahrhunderts, Stilanalyse der Epochen anhand einzelner Filmbeispiele

【講義計画】 Einführungsvortrag
Kursteilnehmer sollen an Hand von Filmszenen und Texten einzelne Themen zur Filmgeschichte bearbeiten.

【評価方法】 Schriftliche Seminararbeit

【テキスト】 Texte zur Filmgeschichte aus verschiedenen Werken.

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16259 16270 16281 16291	独文演習Ⅰ 9・Ⅱ 9・Ⅲ 9・Ⅳ 9	必	春学期 秋学期	各2	3・4	岡 地 稔
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 中世ドイツにおける権力構造

【講義内容】 王権と貴族権力との、時に協力し、時に対抗しあう複雑な関係は、中世ドイツの歴史を構成する基本要素の一つであり、時代を動かす原動力の一つでもあります。この演習では、そうした王権と貴族権力の関係を、初期中世の時期にとって、考えていきます。

【講義計画】 はじめに、初期中世（東フランク期～オットー朝期）における国王選挙の問題をとりあげ、ついで、関連する文献（ドイツ語・邦語）を見ていきたい。参加者には、まずはテキストの精読・検討をととして、問題への理解をふかめ、あわせて歴史研究の方法を学んでほしい。

【評価方法】 出席状況、発表、レポートなどの総合評価

【テキスト】 プリントを配布

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16260 16271	独文演習Ⅰ 10・Ⅱ 10	必	春学期 秋学期	各2	3・4	加 藤 泰 史
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 ドイツ哲学と都市・景観・環境の問題

【講義内容】 ドイツ哲学の文献（ヘルダー・フンボルト・ジンメルなど）を検討しながら、「都市」・「景観」・「環境」の問題を具体的に考察してゆきたい。春学期および秋学期の前半は、問題意識を共有するためにまず日本語の文献をいくつか読んで討議・検討してゆくつもりである。その上で秋学期の後半からドイツ語の文献も併用していく予定である。また、その場合にできるだけ現代ドイツの環境倫理学の問題提起も参考にしたい。

【講義計画】

- (1) 図書館の利用法・文献探索から口頭発表の方法まで
- (2) オーギュスタン・ベルク『都市のコスモロジー』『日本の風景・西洋の景観』『風土の日本』
- (3) イーファー・トゥアン『空間の経験』・桑子敏雄『環境の哲学』
- (4) 和辻哲郎『風土』
- (5) ブルーノ・タウト『日本美の再発見』
- (6) A. v. Humboldt, *Ansichten der Natur*(1849)
- (7) G. Simmel, *Philosophie der Landschaft*(1913)

【そ の 他】 参考文献：渡辺二郎『芸術の哲学』（ちくま学芸文庫）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16261 16272 16282 16292	独文演習Ⅰ11・Ⅱ11・Ⅲ10・Ⅳ10	必	春学期 秋学期	各2	3・4	鈴木 宗徳
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 社会学の学説史および理論社会学研究

【講義内容】 春学期は、社会学の歴史に大きな影響を残した理論的著作を、日本語訳を用いて講読する。議論の中心テーマとなるのは、「社会学は現代社会の問題をどう把握したか」あるいは「社会学の理論はどうあるべきか」という問題である。秋学期はドイツ語文献の講読と自由研究報告をおこなう。

【講義計画】 春学期には、ドイツ語圏を中心とする社会学史上の最重要文献のリストを配布し、その中から一冊を各自が自由に選んで読み、その内容を紹介するレジュメを作成、報告する。課題図書は、ジンメル、ヴェーバー、マンハイム、エリアス、ホルクハイマー、フロム、ハーバーマス、バーガー、ルーマン、ベックなどの著作である。秋学期は、ドイツ語文献の原文での講読と、自由研究報告とを、隔週で交互に行う。講読テキストはJürgen Habermas „*Technik und Wissenschaft als Ideologie*.“ を予定しているが、じっさいは受講者と相談の上で決める。自由研究報告のテーマは、社会学にかかわることであれば全く自由であるが、研究の経過と今後の計画について、各自が春学期のうちから定期的に教師と面談、報告することが義務づけられる。

【評価方法】 議論への参加姿勢、口頭発表の内容、学期末のレポートを総合的に評価する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16277 16287	独文演習Ⅲ5・Ⅳ5	必	春学期 秋学期	各2	4	横 田 忍
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 グリムのメルヘンとドイツ文化

【講義内容】 「ねずの木」や「白雪姫」などのメルヘンを読みながら、そこに表現されている庶民の生活、ゲルマンの民俗、キリスト教文化などを読み解く。

【講義計画】 1) ねずの木
2) 命の水
3) ルムベルシュティルツヒェン
4) マレーン姫
5) 白雪姫
6) その他、学生希望作品。

【評価方法】 出席、発表、レポートなどの総合評価。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16280 16290	独文演習Ⅲ8・Ⅳ8	必	春学期 秋学期	各2	4	林 田 雄二
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 戦後のドイツ語演劇（終戦から1970年まで）

- 【講義内容】
- 1 20世紀前半の演劇状況
 - 2 B.Brechtの演劇理論
 - 3 ヒットラーとナチズム
 - 4 戦後ドイツ社会、政治状況
 - 5 1950年代
 - 6 1960年代
 - 7 1970年代

- 【講義計画】 F. Dürrenmatt “Der Besuch der alten Dame”, “Die Physiker”,
M. Frisch “Andora”, “Der Biedermann und Brandstifter”
P. Weis “Die Ermittlung”
などを原文で読み、作品について書かれた様々の論文を参考にしながら解釈してゆく。劇作家たちが、ナチズムをどのように捉えようとしているかに注意を払ってゆきたい。

- 【評価方法】 議論への積極的参加
口頭発表
レポート

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16641 16642	ドイツ文学特殊講義	選	春学期 秋学期	各2	3・4	HERBERG Dieter
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【副 題】 Die Geschichte des deutschsprachigen Theaters im 19. und 20. Jahrhundert

- 【講義内容】 Gemeinsames Lesen von deutschsprachigen Texten zur Geschichte des Dramas, der Poetik, der Inszenierung, der Theaterarchitektur und der Bühnentechnik.

- 【評価方法】 Mündliche Semesterabschlußprüfung

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16643 16644	ドイツ文学特殊講義	選	春学期 秋学期	各2	3・4	横 田 忍
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【副 題】 『水の精霊と文学表現——美しいローレライと恐ろしいヴァッサーマン——』

- 【講義内容】 ドイツ文学に表現されたさまざまな水の精霊たちを読み解く。自然力としての水の精霊たちはゲルマンの信仰の対象であった。キリスト教に制圧されて彼らは「流刑の神々」(ハイネ)となってしまったが、詩や伝説のなかで美しく、たくましく生き続けている。彼らの復権は現代の環境問題を解決する鍵の一つでもあるはずだ。

- 【講義計画】 春学期：「美しいローレライたち」 ハイネやブレンターノのローレライを歌った詩を解釈する。ウンディーネや人魚姫など、世界の美しい水の精たちを比較検討。

秋学期：「恐ろしいヴァッサーマンたち」 男の水の精を歌ったバラードを中心に、暴力的な自然力を表現する諸作品を研究。水の精の伝説や小説など世界で共通するテーマやモチーフを探る。

- 【評価方法】 講義への参加・出席、レポートなど総合判断。

- 【テキスト】 プリント配布

- 【そ の 他】 ドイツ語のテキストを読むことが多いので、ある程度のドイツ語知識があるのが望ましい。但し、意欲ある学生、日本や諸民族の知識・情報を持った学生歓迎。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16651 16652	ドイツ文化特殊講義	選	春学期 秋学期	各2	3・4	STEITZ Walter A
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 Grundlinien deutscher Geschichte bis 1945
und die Entwicklung der gegenwärtigen politischen
Strukturen in der Bundesrepublik seit 1945

【講義計画】 1.Das Deutsche Reich im Mittelalter und die Entwicklung
bis zum 19. Jahrhundert(800-1815)
2.Industrielle Revolution und Reichseinigung
3.Das Kaiserreich 1870-1918
4.Die Weimarer Republik
5.Nationalsozialismus
6.Deutsche Geschichte 1945 bis 1990
bzw. die Entwicklung der politischen Strukturen der Bundesrepublik

【評価方法】 Für Studierende des 5. bis 8. Semesters/3. und 4. Studienjahr
Für Examenskandidaten und Diplomanden
Mündliche Semesterabschlussprüfung

【テキスト】 Literatur: Staat, Wirtschaft und Gesellschaft in Deutschland.
(Manuskript)
Deutsche Fassung von Walter Steitz
Japanische Erläuterungen
von
Katsuhiko Naito, Yuji Hayashida, Yoshinari Ingaki, Munenori Suzuki
ヨーロッパの歴史 第2版 フレデリック・ドルーシュ総合編集、木村尚三郎監修、花上克己訳

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16653 16654	ドイツ文化特殊講義	選	春学期 秋学期	各2	3・4	SZIPPL Richard
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 ドイツ近代史（18世紀～19世紀のドイツ）

【講義内容】 ドイツの近代史は、大変激しい政治・社会・経済の変化に特長つけられている。また、19世紀の国家統一や勢力拡大、帝国主義はヨーロッパの歴史だけではなく、世界の歴史にも大きな影響を及ぼしたものである。

講義では18世紀からドイツ帝国時代までのドイツの歩みをたどる。それぞれの時代の主な動きに焦点を合わせ、近代ドイツ社会の成立を考察していく。主なテーマとしては、ナショナリズムと統一の問題、自由主義と民主主義の発展、ドイツ帝国の成立とその政治的・社会的構造、国際関係などを取り上げて、近代ドイツ社会の歴史の流れについて理解を深めていく。

【講義計画】 講義では、次の順序で、18世紀からドイツ帝国時代までのドイツ史の主な動きを考える。

- ①18世紀までのドイツ史の概観
- ②神聖ローマ帝国の構造、国境と民族の問題
- ③プロイセンの興隆
- ④フランス革命、ナポレオン帝国の影響
- ⑤Vormärz（3月革命前期）の政治、社会、経済
- ⑥1848年3月の革命
- ⑦ドイツの統一、ドイツ帝国の成立
- ⑧ドイツ帝国時代の経済、政治、社会

- ⑨ドイツ帝国時代の国際関係（ビスマルク体制・Weltpolitik [世界政策]）
 ⑩第一次世界大戦とドイツ帝国の崩壊

【評価方法】 学期中提出一回のレポート・期末試験・授業への参加姿勢によって総合的に評価する。

【テキスト】 ディーター・ラフ著／松本 彰他訳 『ドイツ近現代史』

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16661	ドイツ語学特殊講義	選	春学期	2	3・4	小坂 光一
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 話しことばの文法

【講義内容】 話しことば特有の現象、例えば時称の選択、心態詞の使用、代名詞の選択などに関する演習を行なう。

【講義計画】 1. 文体比較（約2回）
 2. 心態詞（約8回）
 3. 時称（約2回）

以上が春学期の予定である。

【評価方法】 平常点とレポート

【テキスト】 プリントを使用する。

【そ の 他】 演習形式の授業なので常時出席する必要がある。積極性を高く評価する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
16662	ドイツ語学特殊講義	選	秋学期	2	3・4	小坂 光一
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 話しことばの文法

【講義内容】 前期の続き。今学期はさらに、多少理論的なことも勉強する。

【講義計画】 1. 時称（約8回）
 2. 聞きとりと総合演習（約4回）

【評価方法】 平常点とレポート

【テキスト】 プリントを使用する。

【そ の 他】 演習形式なので常時出席する必要がある。積極性を高く評価する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16691 16695	商業ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	STEITZ Walter A
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 Einführung in die deutsche Wirtschaftssprache

【講義計画】

【評価方法】 Schriftliche Semesterabschlußprüfung

【テキスト】 Dominique *Macaire*/Gerd *Nicolas*: Wirtschaftsdeutsch für Anfänger.
Stuttgart, München, Düsseldorf, Leipzig 1999.
Fritz *Bäumchen*: Deutsche Wirtschaftssprache für Ausländer. München 1978.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16701	ドイツ事情	選	春学期	2	3・4	鈴木 宗徳
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 戦後ドイツの政治的・社会的課題

【講義内容】 1990年の東西ドイツ統一から10年が経ったが、政治・経済・社会の各領域でドイツが直面している課題は、いまだに小さくない。東西分断の時代から戦後史をふりかえり、また現在の国際情勢や政治意識の変化などの背景を説明しつつ、様々な角度から現代ドイツの問題を考察し、日本の置かれている状況とも比較する。

【講義計画】 1. 冷戦と東西分断
2. 経済復興と社会国家の構築
3. 東西ドイツの統一
4. 旧東西ドイツ地域の「心の壁」
5. 失業問題と社会福祉政策
6. 移民問題・外国人労働者問題
7. 国際貢献とナチズムの「過去」
8. EU統合への道のり
9. 環境問題との取り組み

【評価方法】 学期末にレポートを一回提出してもらうが、授業への参加姿勢なども加味して、総合的に評価する。

【テキスト】 テキストは用いない。レポート作成の際に参考にしてほしい本のリストを、講義中に紹介する。授業では、ビデオ教材を多く使用する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16702	ドイツ事情	選	秋学期	2	3・4	鈴木 宗徳
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 ハーバーマスの政治思想

【講義内容】 ドイツの戦後思想を一貫してリードしてきたフランクフルト学派、とくにその第二世代の中心的人物であるユルゲン・ハーバーマスの著作と、その時代背景について考察する。ハーバーマスは、71歳を迎えた現

在も、左派知識人の代表としてドイツの論壇で活躍している。彼が体制批判を行う際の理論枠組みと、彼が巻き起こした論争をたどることによって、現代ドイツの思想状況を概観する。

- 【講義計画】
1. フランクフルト学派の「批判理論」
 2. フランクフルト学派・第一世代の思想
 3. 「政治的公共性」の喪失と社会国家の誕生
 4. テクノクラシーと実証主義批判
 5. 国家の「正当性」と社会統合
 6. 「システム」による「生活世界の植民地化」
 7. コミュニケーションと討議倫理
 8. 新自由主義と新しい社会運動
 9. ドイツ統一と歴史家論争
 10. ユーゴ空爆と「世界市民権の構築」

【評価方法】 学期末に一回レポートを提出してもらうが、授業への参加姿勢なども加味して、総合的に評価する。

【テキスト】 テキストは用いない。ハーバーマス自身の著作のほか、フランクフルト学派第一世代（アドルノ、ホルクハイマー、フロム、マルクーゼ）の著作やハーバーマスの論争相手（ポパー、ルーマン、フーコー）の著作、ハーバーマスの同時代の思想家（アーベル、オッフエ、ホネット）の著作などを授業中に紹介する。一点だけ挙げるなら、ユルゲン・ハーバーマス著『公共性の構造転換』（細谷貞雄・山田正行訳、未来社）を読むことを強く勧める。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
16721 16722	ドイツ語新聞講読	選	春学期 秋学期	各2	3・4	鈴木 宗徳
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 科目名は「新聞講読」だが、秋学期の授業で新聞記事を読むための基礎として、春学期には現代ドイツ社会について論じた平易なテキストを講読する。必要な範囲内で背景的知識について説明を行うが、あくまでドイツ語テキストの「講読」の授業である。受講者は、日頃からドイツ語圏の様々なメディアに触れておくことが望ましい。日常的に見出しや写真を眺める習慣をつけるだけでも、効果は大きい。大学図書館には、“Die Zeit”, “Frankfurter Allgemeine Zeitung”, “Rheinischer Merkur”などの新聞や、“Die Spiegel”, “Focus”, “Die Stern”などの週刊誌が収められている。また、これらの各メディアはもちろん、“Süddeutsche Zeitung”や“Die Welt”など、ほとんどのドイツの新聞・雑誌は、現在はインターネットを通して読むことができるので、活用してほしい。その他、日本の新聞に掲載されるドイツの記事はもちろん、NHK・BS7で平日早朝に放送されるZDFニュース（録画したビデオがL棟二階視聴覚ライブラリーで見られる）も利用してほしい。

【講義計画】 春学期：ドイツ戦後史について論じたテキスト、ドイツの現代社会について論じたテキストなどを講読する。
秋学期：過去2～3年間のドイツの重要なニュース記事を、新聞“Die Welt”のインターネット・ホームページから選び、これを講読する。

【評価方法】 学期の途中と学期末の二回、授業で講読したテキストの理解度を試すテストを行う。

【テキスト】 各学期のはじまりにプリントを配布する。その他に参考となる本は、伊東光彦『現代ドイツを新聞で読む』（白水社）の他、現代ドイツの政局については走尾正敬『ドイツ再生とEU』（勁草書房）など。不明な用語がある場合は、田沢五郎『独＝日＝英 ビジネス経済法制辞典』（郁文堂）に詳しい。

文 学 部

国語学国文学科

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17131	国文学基礎講読Ⅰ〔再〕	必	春学期	2	3	安 田 文 吉
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【講義内容】 国文学研究の入門的事柄について講義するとともに、国文学研究の基礎となる、中古から近世までの写本・版本の読解力を養成するため、変体仮名・くずし字の読み方を訓練する。
- 【講義計画】 毎回印刷物を配布して、写本・版本を読み進める。また、毎回宿題を課す。
- 【評価方法】 筆記試験及び平常点
- 【テキスト】 「仮名変体集」（新典社）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17135	国文学基礎講読Ⅱ〔再〕	必	秋学期	2	3	辻 本 裕 成
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【講義内容】 国文学（特に古典）を調べる上で、どのような手続きが必要なのかを学ぶ。
- 【講義計画】 課題を与えて、受講者に調査してもらう。受講者が少なければ、受講者に同行してヒントを与えたりして指導する。
- 【評価方法】 平常点による。
- 【テキスト】 「仮名変体集」（新典社）、プリントを配布する
- 【そ の 他】 名古屋市内の博物館・美術館への見学を受講生の実費負担で行うことがある。他学科の履修も可だが、内容がかなり特殊なので国文学に特に興味がある人以外には受講をお勧めしない。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17141	国文学基礎講読Ⅲ	必	春学期	2	3	辻 本 裕 成
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【副 題】
- 【講義内容】 国文学研究の入門的事柄について講義するとともに、中古から近世までの写本・版本を読む訓練をする。
- 【講義計画】 担当者の講義と並行して、プリントを配布して、写本・版本を読み進める。
- 【評価方法】 平常点と筆記試験による。
- 【テキスト】 島津忠夫『百人一首』（角川文庫）『仮名変体集』（新典社）
- 【そ の 他】 他学科の履修も可だが、内容がかなり特殊なのであまりお勧めできない。
名古屋市内の博物館・美術館への見学会を受講者の実費負担で行うことがある。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17155	国文基礎演習Ⅰ (E)	必	春学期	2	3	安田 文吉
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 曾我物・義経物の研究

【講義内容】 歌舞伎の狂言は、素材によって、筋の骨組や登場人物が決まっているという類型の枠の中で仕組まれた、それが世界である。「曾我物語」「義経記」は歌舞伎の世界の一つである。現在、上演されている曾我物は『助六』『寿曾我対面』『外郎売』『矢の根』『根元草摺引』『夜討ち曾我』、義経物は『義経千本櫻』『船弁慶』などであるが、これらは「曾我物語」「義経記」をはじめ、謡曲・幸若など先行文芸作品や芸能を取り込んで成立している。この演習では、『助六』『寿曾我対面』『義経千本櫻』を取り上げ、その成立に至る種々の先行作品の検討を含めて、江戸歌舞伎の特色を考え、あわせて近世文学・文化の有り様を追及する。

【講義計画】 毎回、2～3人のレポートを指定、その報告をもとに全員で検討する。
「曾我物語」・「義経記」の梗概と研究
謡曲の曾我物・義経物の梗概と研究
幸若（曲舞）の曾我物・義経物の梗概と研究
浄瑠璃の曾我物・義経物の梗概と研究
歌舞伎の曾我物と梗概と研究
『助六』・『吉野山道行』の研究（VTR鑑賞）
『寿曾我対面』・『河運法眼館の段』の研究（VTR鑑賞）
上記2作品それぞれの構成
歌舞伎特有の衣裳・セリフ廻し・隈取り・下座音楽・大道具・小道具
御園座の四月の歌舞伎興行夜の部の鑑賞と研究
中日劇場の六月興行「市川猿之助歌舞伎公演」夜の部の鑑賞と研究

【評価方法】 口述試験

【テキスト】 『歌舞伎入門』（おうふう）
『歌舞伎のたのしみ』（北白川書房）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17166	国文基礎演習Ⅱ (F)	必	秋学期	2	3	細 谷 博
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 近代文学をどう読むか

【講義内容】 眼前にある書物を繙（ひもと）き、ある作品を読む。この何気ない日常の行為が、ときに我々をつよく動かすものとなる。閉じられた書物を前に、動かされた心をかかえて読み手はあらためて自らに問うだろう、いったい何が読まれたのか、また、いかに読まれたのか、と。これが我々の出発点である。そこから様々な確認と検討、論文読解、比較考察等が始まる。各々の読みをかかえつつ、さらにゆたかな理解と表現へ向けて。すなわち、「論」の勉強のはじまりである。

【講義計画】 太宰治等の作品を対象として読解を行なう。具体的な作品本文を確実に読みとることと、また、作品全体を端的にとらえ解釈することとを同時にめざす訓練の場とする。
1 作品読解、研究方法入門
2 担当課題、発表日程の決定
3 口頭発表、質疑応答
4 面接による個別指導
5 レポート提出
最初の授業時に「進行予定表」を配布する。

【評価方法】 担当発表、レジュメ、質疑応答、試験等から総合的に評価。出席も重視する。

- 【テキスト】 太宰治『女生徒』（角川文庫）
 太宰治『走れメロス』（新潮文庫）
 細谷博『太宰治』（岩波新書）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年 次	担 当 者
17251 17261 17271 17281	国文演習Ⅰ(A)・Ⅱ(A)・Ⅲ(A)・Ⅳ(A)	必	春学期 秋学期	各2	3・4	田 島 優
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

- 【副 題】 方言研究

- 【講義内容】 昨年に引き続き、愛知県・岐阜県・長野県の三県境域を方言研究のフィールドとして、言語地理学や社会言語学的な面からの調査を実施する。今年度は、岐阜県恵那郡岩村町と愛知県東加茂郡旭町を行なう予定である。調査項目の選定や調査の仕方、調査結果の分析法など、方言調査法を身につける。

- 【講義計画】 春学期には、言語地理学や社会言語学について概説する。
 夏休みに、3泊4日程度の調査を実施する。
 秋学期には、その調査結果の資料をもとに、興味を持った項目について発表する。

- 【評価方法】 調査への取り組みや口頭発表の内容。そしてレポートの成績によって評価する。欠席過多を適用する。

- 【テキスト】 新・方言学を学ぶ人のために（世界思想社）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年 次	担 当 者
17252 17262 17272 17282	国文演習Ⅰ(B)・Ⅱ(B)・Ⅲ(B)・Ⅳ(B)	必	春学期 秋学期	各2	3・4	丸 山 徹
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

- 【副 題】 日本語の中の漢字

- 【講義内容】 春学期－テキストを読みながら、日本語と漢字について、共に考える。
 秋学期－各自の研究発表について、皆で考え、話し合う。

- 【講義計画】 春学期－はじめに発表の仕方の参考となる形を示す。その後一人ずつ担当箇所を決め、各自考察の結果をクラスで発表し、その内容を皆で検討する。担当者はその発表要旨を一週間前までに全員に配布すること。また毎回、全員の出席が求められる。
 秋学期－国語学の分野で各自現在抱えるテーマについて発表し、その内容を皆で検討する。

- 【評価方法】 参加者各自の口頭発表の内容、授業中の議論への参加の度合、期末レポート・期末試験の成績による。

- 【テキスト】 中田祝夫、林史典「日本の漢字」（中公文庫）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17253 17263 17273 17283	国文演習Ⅰ(C)・Ⅱ(C)・Ⅲ(C)・Ⅳ(C)	必	春学期 秋学期	各2	3・4	辻 本 裕 成
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 王朝文学の諸問題

【講義内容】 源氏物語の講読と各自の研究課題の探究

【講義計画】 春学期
源氏物語若紫巻をダイジェストで輪読する。
輪読担当者は、担当箇所について研究者がするのと同じやり方で調査し訳注をつけないといけない。また、担当者が出す特別の課題に答えなくてはならない。

夏休み
三年生には各自の興味に従ってレポートを書いてもらう。レポートは学術的な内容を備え、学生自身の見解が述べられているものでなくてはならない。

秋学期
四年生については卒論で取り上げようとしている問題についての中間発表をしてもらう。また三年生については夏休みのレポートについて発表してもらう。

【評価方法】 発表の内容、討議への参加度によって評価する。

【テキスト】 新潮古典集成 源氏物語一

【そ の 他】 各自の研究課題は、源氏物語に限らず、まったく自由に選んでよい。
名古屋市内の博物館・美術館への見学会を受講生の実費負担で行うことがある。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17254 17264 17274 17284	国文演習Ⅰ(D)・Ⅱ(D)・Ⅲ(D)・Ⅳ(D)	必	春学期 秋学期	各2	3・4	美濃部 重克
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 中世文学研究

【講義内容】 『平家物語』『閑居友』『とはずがたり』『方丈記』『平家公達草子』についての分析的解釈の訓練を通して中世文学に関する論文を書くことから涵養することを目的とする。そのいずれも、王朝の文学的な伝統の上に立ちつつ、中世的な歴史社会の現実とそこに生きる人々の感情の価値化を目的として、中世の文学様式を模索した結果としての表現であって、そこに中世の文学のさまざまな現れを見ることができる。そこからどのような文学に関する問題を引き出すことができるか、受講生は各人その試みをするようになる。担当者はクラスでは助言者として振る舞うことになる。

【講義計画】 はじめに担当者が上記作品のうちいずれかひとつを取り上げて、発表の仕方の手本を示す。あとは受講者が自らの能力をもって試行錯誤を繰り返し、かつ時間をかけての調査と思考の結果をクラスで発表することになる。

【評価方法】 評価は、発表内容そして他の発表者の発表時における発言に基づいて行なわれる。

【テキスト】 その都度指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17255 17258 17265 17268 17275 17278 17285 17288	国文演習Ⅰ(E)・Ⅱ(E)・Ⅲ(E)・Ⅳ(E)Ⅰ Ⅰ(E)・Ⅱ(E)・Ⅲ(E)・Ⅳ(E)Ⅱ	必	春学期 秋学期	各2	3・4	安 田 文 吉
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 近世演劇史研究

【講義内容】 近世（江戸時代）の歌舞伎・人形浄瑠璃作品を取り上げ、作品自体はもちろんのこと、作者・役者・観客・番付・評判記・太夫・三味線などを含めて、総合的に検討し、近世文学・近世芸能・近世文化について考える。また、歌舞伎や人形浄瑠璃は近世において人々の一番の娯楽であり、したがって農村や漁村・山村でも盛んに上演された。それらが現在地芝居として復活或いは再び盛んになりつつあるので、それらについても芝居小屋や舞台の見学を含めて、近世芸能文化史の点から検討する。

【講義計画】 毎回、2～3人のレポーターを指定、その報告をもとに全員で検討する。

歌舞伎・人形浄瑠璃について概観する。

河竹黙阿弥『天衣紛上野初花』の梗概と研究

四代目鶴屋南北『東海道四谷怪談』の梗概と研究

上記2作品それぞれの構成

歌舞伎特有の衣裳・セリフ廻し・隈取り・下座音楽・大道具・小道具

御園座の四月歌舞伎興行「陽春花形歌舞伎」の夜の部の鑑賞と研究（春学期）

中日劇場の六月興行「市川猿之助歌舞伎公演」夜の部の鑑賞と研究（春学期）

御園座の十月興行「吉例顔見世」夜の部の鑑賞と研究（秋学期）

近世芸能文化の特色

【評価方法】 口述試験

【テキスト】 『歌舞伎入門』（おうふう）
『歌舞伎のたのしみ』（北白川書房）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17256 17266 17276 17286	国文演習Ⅰ(F)・Ⅱ(F)・Ⅲ(F)・Ⅳ(F)	必	春学期 秋学期	各2	3・4	細 谷 博
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 近代・現代文学研究

【講義内容】 近代・現代文学の読解、研究を行なう。なにより作品を丁寧に読みたいと思う者、読むこと、そして書くことを通して、何事かを確かに考えてみようと思う者を対象とする演習である。自己の〈小説読み〉の力——言葉による人間形象の把握力と、他者へ向けての表現と討論の力を培う場としての参加を望む。

【講義計画】 春学期は谷崎潤一郎の作品を読み、秋学期は各自のテーマに沿って進める（四年生を優先）。

1. 作品読解、研究方法入門
2. 担当課題、発表日程の決定
3. 口頭発表、質疑応答
4. 面接による個別指導
5. レポート提出（春学期は課題作品、秋学期は自己のテーマ）

最初の授業時に「進行予定表」を配布する。

【評価方法】 担当発表、レジュメ、質疑応答、レポート等から総合的に評価。

【テキスト】 谷崎潤一郎『刺青』（新潮文庫）
 ♪ 『痴人の愛』（ ）
 ♪ 『世』（ ）
 ♪ 『夢喰う虫』（ ）
 ♪ 『春琴抄』（ ）

○参考図書：
 細谷博『凡常の発見 漱石・谷崎・太宰』（明治書院）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17257 17267 17277 17287	国文演習Ⅰ（G）・Ⅱ（G）・Ⅲ（G）・Ⅳ（G）	必	春学期 秋学期	各2	3・4	西 岡 淳
他の科目 との関連	Ⅰ（G）はⅡ（G）を、Ⅲ（G）はⅣ（G）を履修するための前提科目					他学科 履 修 不可

【副 題】 漢文学の諸問題

【講義内容】 漢文学（内容は中国古典文学にほぼ等しいが、日本人を始め漢人以外の人々の手になるものも対象とする）作品の読解・研究を行う。日本語・日本文化の基礎形成に関わった言語を扱うという意味で、読解方法は主として訓読によるが、「外国文学の古典」として作品をみる姿勢をも養いたい。そうした視点からも、可能な限り利用のできる中国語資料の紹介につとめたい。このため授業では現代中国語を補助的に用いることがあるが、受講者に中国語の履修経験がなくとも理解できる内容である。

【講義計画】 春学期は、王安石・蘇東坡・陸游・朱熹ら宋人の詩文を、律詩を中心に読み進める（学生諸君の要望により適宜作品を選択する）。秋学期もこれに準ずるが、4回生の研究テーマを考慮したかたちをとる。以下のような段階を踏む。
 1. 研究課題及び読解資料の選定
 2. 漢文学読解・研究に必要な知識及び資料の説明
 3. 資料の整理状況及びその時代背景の説明
 4. 発表資料の作成方法の説明
 5. 発表と質疑応答
 6. レポート提出

【評価方法】 発表資料・質疑内容・レポートなどから総合適に評価する。

【テキスト】 和刻本のコピーを用いる（学生諸君の要望に応ずる）。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17631 17635	書道AⅠ・AⅡ	選	春学期 秋学期	各1	3	高 田 眞 菊
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 漢字の書—その歴史と実技

【講義内容】 中国における漢字の起源とその時代背景を考える。
 文房四宝についての理解を深める。
 漢字五体（楷・行・草・篆・隸）の種類を把握する。
 作品鑑賞をしながら審美眼を養い、書と人間性・美しい書とはどんな書かを考える。

【講義計画】 春学期
 ・中国書道史

- ・文房四宝についての知識を深める
 - ・漢字五体（楷・行・草・篆・隸）の相違点を把握 ・楷書と行書の練習
- 秋学期
- ・隸書、草書の練習
 - ・実用書の練習
 - ・篆刻実技
 - ・作品鑑賞を通じて書と人間性・美しい書について考える。
 - ・書作品の色々な作品形式・形態を知り創作する

【評価方法】 出席・実技作品・レポート等により総合評価する。
「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 書道の古典（二玄社）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17641 17645	書道BⅠ・BⅡ	選	春学期 秋学期	各1	3	飯 田 実
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 BⅠ “かな書道”（毛筆）・BⅡ “ペン習字”

【講義内容】 書道BⅠ
「かな書道」かなの種類、かな誕生の起因と時代背景の説明。かなの字源理解を通してかなの正しく美しい書き方の習得。変体仮名の読解の徹底をはかる。毛筆かな書道を中心にひらがなの字源の理解、ひらがなの美しい書き方を学ぶ。

書道BⅡ
「ペン習字」字形の整え方、かな、漢字（楷・行・草書）の特徴と基本点画などの理解を基礎に、現代の実用書の書式を学び、美しく整ったペン字が書けるようにする。

【講義計画】 BⅠ かな（毛筆）
（1）かなの種類。（イ）カタカナ・（ロ）ひらがな・（ハ）万葉仮名・（ニ）変体仮名
（2）わが国独自の“かな文字”誕生の起因とその時代背景。（特に平安初期から中期にかけての時代背景）
（3）ひらがなの字源の理解を通して、ひらがなの正しく美しい書き方の説明
（4）変体仮名の読解の徹底をはかる
BⅡ ペン習字
（1）字形の整え方
（2）かな、漢字（楷・行・草書）の特徴と基本点画
（1）（2）の理解を基礎に、現代の実用書の書式を学び、美しく、整ったペン字が書けるようにする。

上述の目標に向けて、書論の講義を通しての知的理解をはかると共に、並行して “かな文字” “ペン習字” の実技指導を行う。

BⅠ かな
（1）かなの発生、展開とその種類
（2）いろは48文字の字源の把握と効用
（3）代表的変体仮名の読解と実技練習
（4）連綿の基礎十二法について
（5）執筆法について
（6）かな単体および連綿体の基礎的履修
以上のようなかなに関する知識を伝えとと共に、小筆によるかなの美しい書き方を指導する。

BⅡ ペン習字
（1）はがき・便箋・封筒・年賀状・その他実用文の書法
（2）上記のそれぞれの書式について
（3）自分の住所氏名を楷・行・草体で正しく美しく書けるように指導
以上等ペンによる実用書の指導を行う。

【評価方法】 原則として数回提出の実技作品の平均点と、平常点（出席日数など）の総合評価とし、ペーパーテストを行う場合は、これを含めた総合評価とする。「欠席過多」を適用する。

【テキスト】 『梅雪かな帖』上巻（松林堂〔株〕）、『ペン習字』（中日文化センター）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17655	国語学講読AⅡ	選	秋学期	2	3・4	舩 山 洋 介
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 類義表現の分析

【講義内容】 現代日本語には、「話す／言う／しゃべる」「楽しい／うれしい」「やっ／ようやく／ついに／とうとう」など、数多くの類義語（意味の類似した複数の語）が存在している。一方、現行の国語辞典における類義語の意味記述は、決して十分とは言えない。また、文のレベルでも、「昨日は8時間勉強した／昨日は8時間も勉強した／昨日は8時間しか勉強しなかった」などのように、同一の事態を表現していても、話者の事態の捉え方に応じた複数の文が存在する場合がある。
このような言語事実を踏まえ、類義表現（類義語・類義文）を分析することの意義、類義表現を分析し微妙な意味の違いを明らかにする方法を学び、自ら分析する能力を身に付けることを目指す。

【講義計画】 1. 類義表現分析の基礎
・類義表現とは
・類義表現分析の意義
・類義表現分析の方法
2. 類義語分析の実際
3. 類義文分析の実際

【評価方法】 レポートおよび平常点

【テキスト】 プリントを配布する

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17661	国語学講読BⅠ	選	春学期	2	3・4	田 島 毓 堂
他の科目との関連	秋学期・国語学講読BⅡを受講しようとするものは受講することが望ましい。					他学科履修可

【副 題】 比較語彙論概説

【講義内容】 語彙論を概説する中で、特に、語彙元素論に比べて格段に未発達状態にある語彙総体論を中心に講義する。その際、言語研究において当然考慮されなければならない、ラング・パロールについて、語彙研究にも適用すべきことを述べ、この観点から語彙論を整理し、さらに、語彙が文化との接触面であることから、語彙分析によって文化を言語的に研究することができること、そのためには比較ということが方法として必要であり、体系的に明確でない語彙の対象化が第一に必要であり、さらに語彙分析のためには、意味の視点が不可欠であること、そのための具体的方法が意味分野別構造分析法であること、そのための基盤として、コード付けの問題があることなどを講ずる。

【講義計画】 第1回 語彙論の現状および語彙論認識の現状
第2回 なぜ語彙研究か、なぜ比較語彙研究か
第3回 語彙論の用語
「語彙」は、単語・語ではない。「語彙」は語の集合。彙はハリネズミの象形文字。「語彙量（が大きい・豊富・小さい・貧弱）」「語彙力（がある・ない）」という用法は正しい。誤用が多い。特に「語彙数」「語彙の意味」「語彙の問題」「語彙の単位」の「語彙的」はlexicalの訳語か。lexicologyの訳「語彙論」が間違いのもと。「語義学」は「語彙論」よりはよい。
第4回 語彙論の課題 語彙論における「語彙元素論」と、「語彙総体論」。集团的規範語彙と個別語彙。
第5回 比較語彙論 その1
「比較語彙論」の「比較」は「比べる」意味。比較語彙論的研究の目的・意義・研究方法について。研究方法としての意味分野別構造分析法。
第6回 比較語彙論 その2
この研究の対象語彙。何を対象語彙として選定するか。語彙の体系の問題。語彙体系論で論ぜられたテ

ーマ（親族名称及び男女・数詞・色の名・コンソアド・オノマトベ）。

第7回 比較語彙論 その3

①意味構造分析法の説明 ②意味構造分析法を必要とする理由…数量的分析の限界

第8回 比較語彙論 その4

③対象語彙に対する分析のうち、単純語と複合語について ④コード付けについて

第9回 比較語彙論のために 阪倉論文について1

研究方法・目的・意義

第10回 比較語彙論のために 阪倉論文について2

万葉の名詞語彙採取原則について

第11回 比較語彙論のために 阪倉論文について3

掛詞について。カイ二乗検定。

第12回 比較語彙論の考察試案 源氏物語の語彙と絵詞語彙の比較 その1

第13回 源氏物語と絵詞の語彙2—意味コード付けについて—

従来的一般のコード付けと比較語彙論のためのコード付け

第14回 源氏物語と絵詞の語彙3—意味構造分析の実際—

源氏物語と絵詞の間の関係について。

第15回 比較語彙論の言語学への貢献—語彙論の方法と語彙の対象化による、及びその研究の現状と成果

【評価方法】 毎回、10分間程度の小テストを行い、出席に代えと共に、合計して評価とする。

【テキスト】 『比較語彙研究序説』（田島毓堂著：笠間書院）2400円
参考文献：田中章夫著『国語語彙論』林大監修『図説日本語』
国立国語研究所『分類語彙表』築島裕著『国語学』等

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17665	国語学講読BⅡ	選	秋学期	2	3・4	田 島 毓 堂
他の科目との関連	春学期開講の国語学講読BⅠを受講することががのぞましい。コンピュータの一応の使用法はすでに承知しているものとして進めるので、講習会などには出席しておくように。					他学科 履 修 可

【副 題】 コード付けに関する研究

【講義内容】 語彙論については、すでにおおまかな知見を習得したことを前提とする。その上で、語彙研究のためのデータである語彙表の個々の語に対してコードを与えるということについて、その理論について学び、実際にコード付けを実践してみる。このことにより、語構成法について、認識を新たにすることも目的の一つである。

【講義計画】 第1回 語彙論の概略とこの講義の目的内容等につき説明
第2～5回 コード付けの理論、その基準等、以下の項目について講ずる。

- ①調査単位について
- ②語素コードと単語コードのコード付けについて
- ③語源についての問題
- ④さ変動詞の扱い
- ⑤形容動詞・～的だの扱い
- ⑥造語成分・接辞について
- ⑦複合動詞のコード
- ⑧補助動詞・補助形容詞・形式動詞について
- ⑨動詞化接辞のコード7.002と動詞語尾12.00902について
- ⑩可能動詞について
- ⑪自他の対応について
- ⑫連語縮約形・融合形のコード付、略語・訛語・方言形
- ⑬そうだ（様態）・そうだ（伝聞）の「そう」の扱い
- ⑭形成語のコード・元に付けること
- ⑮「びったり」との「っ」「り」との扱い
- ⑯助動詞敬語のコードについて
- ⑰多義語は多義語のままで
- ⑱宛字の問題
- ⑲名詞接辞について
- ⑳品詞コードについて
- ㉑コードの修正
- ㉒漢字語素コードと外来語語素コード
- ㉓固有名詞・不明語のコード
- ㉔「語素コード」の示し方

㊸外国語（英語）のコード、㊹その他
 第6．7・8回 練習問題を各自実践しながら、問題点を把握する。
 第9回以降 課題について、各自実習して、その一部分を発表し、発表し残した部分をレポートとする。

【評価方法】 時間中の課題の発表及びレポート。

【テキスト】 国語学講読BⅠで使用した『比較語彙研究序説』とコピーを使用する。
 参考文献：田中章夫「国語語彙論」S53.2 明治書院
 国立国語研究所「分類語彙表」S38 秀英出版

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17675	国語学講読CⅡ	選	秋学期	2	3・4	丸 山 徹
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 キリシタン文献と中世日本語

【講義内容】 「語学書」を中心にキリシタン文献の概説をし、そこに反映する中世日本語の姿について、共に考える。

【講義計画】 1. キリシタン文献「語学書」
 ——文法書・辞書・キリシタン要理
 2. ロドリゲスの「日本大文典」「日本小文典」
 3. 日葡辞書と羅葡日辞書
 4. ドチリナキリシタン
 5. 日本語史研究とキリシタン文献

【評価方法】 期末レポートと期末試験。
 「欠席過多」は不合格（S）とする。

【テキスト】 授業中配布のプリント

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17691	国語学特殊講義AⅠ	選	秋学期	2	3・4	齋 藤 文 俊
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 近代邦訳聖書の研究

【講義内容】 幕末から明治時代にかけて翻訳された聖書を読むことにより、その中に見られる近代日本語の特徴について考察していく。

【講義計画】 まず、最初の数回で、近代日本語の特徴、日本における翻訳の歴史などについて概説する。
 その後、受講生とともに『新約聖書約翰傳（ヨハネによる福音書）』を読みすすめていく。

【評価方法】 平常点、および期末レポート

【テキスト】 数種類のコピーを配布する。また、南山大学図書館には「カトリック文庫」があり、多くの貴重な資料を閲覧することができる。この恵まれた環境を大いに利用してほしい。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17697	国語学特殊講義BⅡ	選	秋学期	2	3・4	釘 貫 亨
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 古代日本語の成立は、天武・持統王朝によって確立した律令国家体制と密接にかかわっている。5世紀頃から見出だされる初期日本語資料は6世紀末の推古王朝の遺文に至るまで基本的には漢文の合間に挿入される人名地名の固有名詞の仮名表記に現れるに過ぎない。

6世紀末の律令体制成立に伴う文書主義社会の出現は、日本人の言語生活を一変させた。

律令官人による木目の細かい文書行政の発達、文字言語の存在抜きに社会の秩序を維持することを困難にした。それまで口伝で表現された神話や伝説が文字で記されることによって歴史や地誌に包摂され、口誦文芸であった「うた」が書き留められる様になった。その結果、専ら固有名詞の表記に使われていた万葉仮名が一般的な品詞の表記に転用され、日本語の文字表現がほぼ完全に可能になったのである。本講義では、万葉仮名による日本語表記の成立過程から、ひらがなが成立する合理性を解明し、洗練された散文学の実現過程までを追う。

【講義計画】 講義では、「①初期日本語資料の特徴②律令国家と文書主義社会の成立③神話伝説から歴史と地理へ④口誦文芸から記載文芸へ⑤ひらがな・カタカナの成立⑥仮名散文成立の必然性」と六段階に分けつつ具体的資料によって論ずる。

【評価方法】 レポート

【テキスト】 当方で用意する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17713	国文学特殊講義AⅡ	選	秋学期	2	3・4	加 藤 洋 介
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 藤原定家の古典学—伊勢物語・古今和歌集の場合—

【講義内容】 前期（国文学特殊講義AⅠ）に続き、藤原定家の古典学のうち、伊勢物語と古今和歌集について取り上げる。定家は二作品ともに十数回以上もの書写を繰り返しており、それだけでもこの二作品に対し、定家が並々ならぬ意欲と関心をもっていたことを窺わせるに足るものがある。本講義では、そうした定家の研究活動の実態に即しながら、研究の進展に伴っての本文ならびに注釈成果の推移について見渡し、彼の古典学がもつ意義について考えてみたい。

【講義計画】 1. 定家の古今和歌集書写の実態
2. 三代集研究の中での位置付け
3. 定家による古今和歌集注釈との関わり
4. 定家の伊勢物語書写の実態
5. 本文の変貌とその意義

【評価方法】 授業時間内での数回のペーパーの提出と、筆記試験による

【テキスト】 適宜プリント配布

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17715	国文学特殊講義BⅠ	選	春学期	2	3・4	辻 本 裕 成
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

- 【副 題】 婚姻と日本古典文学
- 【講義内容】 平安時代の婚姻の実態に関しては、高群逸枝がいう、平安時代は一夫多妻で、相続は女性が行うとの考えが常識となっていた。しかし、近年、高群説には厳しい批判が寄せられ、日本の婚姻史は書き換えられつつある。そのようなホットな論争を紹介し、あわせて文学と婚姻の問題を考えたい。
- 【講義計画】 高群逸枝説の概要
高群逸枝説への最近の批判
一夫一妻制論
家と貴族女性
密通に対する処断
- 【評価方法】 持ち込み可の試験によるが、我と思わん人はレポートを提出してもよい。ただし、レポートを提出した場合の評価は、A+かFの二つに一つである。
- 【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17725	国文学特殊講義D I	選	春学期	2	3・4	安 田 文 吉
他の科目との関連						他学科履修可

- 【副 題】 近世歌舞伎研究
- 【講義内容】 江戸時代の歌舞伎は、明治以後の新歌舞伎とは大いに異なって、筋立てや時代考証等が実に巧みにしかも面白く構成されている。今回も昨年に引き続き『菅原伝授手習鑑』を取り上げて、一つの事件が、どのように浄瑠璃・歌舞伎に取り込まれ、しかも人々にどのように影響を及ぼしていったか、などについて詳しく検討する。本講義では、江戸歌舞伎の代表的作品『菅原伝授手習鑑』を取り上げて、VTRを参照しながら、その構成・構造を考え、あわせて近世芸能の特色を検討する。
- 【講義計画】 歌舞伎の成立
歌舞伎の舞台
VTR『菅原伝授手習鑑』の鑑賞
それぞれの作品の構成
それに先行する説話・文学作品・文化の研究
歌舞伎特有の衣裳・セリフ廻し・隈取り・下座音楽・大道具・小道具
歌舞伎の音楽
御園座の四月興行「陽春大歌舞伎」夜の部の鑑賞と研究
中日劇場の六月興行「市川猿之助歌舞伎公演」夜の部の鑑賞と研究（春学期）
御園座の十月興行「吉例顔見世」夜の部の鑑賞と研究（秋学期）
近世芸能文化の特色について考える。
- 【評価方法】 筆記試験
- 【テキスト】 『歌舞伎入門』（おうふう）、『歌舞伎のたのしみ』（北白川書房）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17731	国文学特殊講義E I	選	春学期	2	3・4	細 谷 博
他の科目との関連						他学科履修可

- 【副 題】 長篇小説読解
- 【講義内容】 漱石『明暗』を対象として考察を行う。

新聞小説作家・漱石最後の長篇『明暗』には、我々の周囲にひろがる身近な世界が描かれ、どこにでも居るかのごとき人間たちが現れ、さまざまな駆け引きや愚行をくり返す。それがなぜ、依然として多くの読者を引きつけてやまないのか。

ともすれば重いイメージにとりまかれてきた『明暗』をあらためてよくできた面白い小説として読み直し、作品の実相の検討を通じて、自己の読み取りの正確な把握と理論化の過程を検討する。批評的観点の重要性と問題点についても講ずる。

【講義計画】 第1回 〈読み〉の意識化について
第2～11回 読解『明暗』読解
第12回 まとめ
最初の授業時に「進行予定表」を配布する。

【評価方法】 定期試験により評価する。

【テキスト】 夏目漱石『明暗』（新潮文庫）
○参考図書：
細谷博『凡常の発見－漱石・谷崎・太宰』（明治書院）
水村美苗『続明暗』（新潮文庫）
ジェーン・オースティン（中野好夫訳）『自負と偏見』上下（新潮文庫）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17737	国文学特殊講義FⅡ	選	秋学期	2	3・4	松 田 良 一
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 女性作家の感性と思想

【講義内容】 現在活躍中の吉本ばなな、山田詠美、そして幸田露伴の娘でもあり、小説家として活躍した幸田文、さらにテレビ脚本家の後、小説家として活躍した向田邦子。また森瑶子、津島佑子などの女流作家の文学的特質を追求し、現代女性の内面を分析する。また、女性作家の表現史をふまえながら、現代社会における「家族」「性」「死」について考察する。

【講義計画】 秋学期は、前半で吉本ばななと山田詠美の現代女性文学史上からみた同質点と異質点を分析し、後半は具体的に吉本ばななと山田詠美の作品を分析する。

【評価方法】 定期試験、配布したプリントによる課題の取り組み方、および出席状況などにより総合的に行なう。欠席過多を適用する。

【テキスト】 『ベッドタイムアイズ、ジュシーの背骨』（山田詠美 新潮文庫）、『風葬の教室』（山田詠美 河出文庫）、『キッチン』（吉本ばなな 福武文庫）、『白河夜船』（吉本ばなな 角川文庫）、『思い出トランプ』（向田邦子 新潮文庫）、『台所のおと』（幸田文 講談社文庫）、『情事』（森瑶子 集英社文庫）

【そ の 他】 【参考文献】
『向田邦子心の風景』（松田良一著 講談社）
『山田詠美愛の世界』（松田良一著 東京書籍）
『内面のフィクション』（山田詠美著 河出文庫）
『B級BANANA』（吉本ばなな著 福武文庫）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17755	漢文学特殊講義Ⅱ	選	秋学期	2	3・4	西 岡 淳
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 唐詩の変容

【講義内容】 中国古典、日本文学の作家、ジャンル、時代、そのいずれかのまとまりを持つ作品群を研究対象として、一貫するテーマを軸に論ずる。その際、学生の読解力を培うことに特段の注意を払う。

【講義計画】 中国古典文学を代表する表現形式である詩を、音韻的な側面を含めて深く理解することを目指す。本学は前学期の後をうけ、唐代後半（盛唐から中晩唐）の詩について講ずる。近体詩が名実ともに確立した初盛唐期の詩に比較した場合の特徴等を論じ、またその代表的な作家たちについて、伝記や逸話等に触れつつ作品を読み進める。以下の事項について、それぞれ1、2時限程度の講義をおこなう。

1. 漢文の解釈に関する知識と種々の工具書、参考書について
2. 詩の韻律と盛唐の詩人たち
3. 杜甫の詩
4. 韓愈・柳宗元（中唐詩Ⅰ）
5. 白居易・元稹（中唐詩Ⅱ）
6. 李商隱・杜牧（晩唐詩）

【評価方法】 論述問題と資料読解の筆記試験による。

【テキスト】 基本的に毎回資料（コピー）を用意する。教科書は特に指定しない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
17763	国文学講読AⅡ	選	秋学期	2	3・4	高橋 亨
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 古今集講読

【講義内容】 古今集についての近代の理解、認識は、平安朝における実態とは違い所にある。歌われた内容、さらには歌人、あるいは政治的状況などについて考察する。両序、および一首一首の歌について、一字一句ゆるがせにせぬ方法で可能な限り多くの量を講読する。その結果として、詩文に対し、歌が日本語の文芸としていかに日本文化を先導し、人々がいかなる世界観の中に、いかに生きたかを捉えることを目的とする。単位のみ取ればよいという考えでの受講はお断りします。勉強してもらいます。

【講義計画】 具体的な歌について、多面的な考察をし、その歌から導かれるさまざまな問題を指摘し、我々にとっての可能性を視野に入れつつ講読する。

【評価方法】 試験による。ただし、提出は任意のレポートを数回課す。

【テキスト】 小町谷照彦『古今和歌集』旺文社文庫

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
17765 17767	国文学講読BⅠ・BⅡ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	辻本 裕成
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 蜻蛉日記の諸問題

【講義内容】 女流散文学の嚆矢である蜻蛉日記の諸問題について講義する。
通読という形ではなく、なるべく最新の研究の中からすぐれていると思われるものについて、担当者の意見とアレンジを加えて、1、2回完結の形で紹介するという形式で講義する。

【講義計画】 講義計画（春と秋の内容については多少の出入りがあるかもしれない）
春学期

- 序文の解釈をめぐる諸説
- 登場人物達の像（他の諸資料から）
- 蜻蛉日記執筆の目的に関する諸説
- 仮名文章創期の苦闘
- など

秋学期
屏風歌に関して
「日記」とは何か?
和歌のやり取りをめぐる諸問題 など

【評価方法】 持ち込み可の筆記試験による。

【テキスト】 岩波文庫『蜻蛉日記』

【そ の 他】 秋学期のみ履修する人にもなるべく配慮するが、Ⅰ、Ⅱを連続して履修するほうが望ましい。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17771 17773	国文学講読CⅠ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	美濃部重克
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 『閑居友』講読

【講義内容】 十三世紀のはじめ、慶政上人の手によって書かれた仏教説話集である。明恵あるいは貞慶といった、当代を代表する高僧との交流を通してつちかわれた透徹した人間洞察のちからをかいま見ることの出来る面白い説話集である。後高倉院の皇女おそらくは安嘉門院邦子の読書の料に書かれたもので、上流の女性たちの人生観やものの見かたに影響を与えたものとして、読むこともできる作品である。できる限り、同時代の状況にテキストを返すかたちで読むことを試みる。

【講義計画】 はじめに『閑居友』の世界とその背景について概説し、そののちに講読を行う。春学期は上巻から秋学期は下巻から複数の説説を選びだして読む。

【評価方法】 筆記試験による。

【テキスト】 美濃部重克校注『閑居友』（中世の文学）三弥井書店

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
17775 17777	国文学講読DⅠ・DⅡ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	塩 村 耕
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 西鶴研究

【講義内容】 西鶴は天才である。その作品がしばしば有する、独特のわかりにくさも、実は我々の無知、および西鶴の前衛的技法に由来することが多い。それが文学史上、いかに突出した存在であるかを確認しつつ、西鶴の小説を精読する。

【講義計画】
○最初は西鶴文学の概要、および読解の方法について講義する。
○その後、各担当者が短編の一話について、既にわかっていることと、疑問点について発表する演習形式で講読を進める。
○特に、挿画や作品中にさりげなく描かれた細部にこだわることによって、新たな読みを期待したい。
○あわせて、作品の背景となる、社会史的知識について注意を喚起し、同時代の他の文献資料の探求も目指したい。

【評価方法】 発表および受講の際の熟意、各学期末に課する研究報告によって評価する。

【テキスト】 受講生数および受講生の嗜好を勘案して作品を決めたい。

【そ の 他】 ○1年間をかけて1作品を通して読む予定なので、出来れば春学期・秋学期とも受講されたい。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17783	国文学講読EⅡ	選	秋学期	2	3・4	小 倉 齊
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 1910年代の文学状況——森鷗外を中心に——

【講義内容】 森鷗外の『半日』『追儼』『キタ・セクスアリス』『雁』『興津弥五右衛門の遺書』『高瀬舟』などを読みながら、現代小説から歴史小説に転じてゆく鷗外の思念の軌跡を辿るとともに、1910年代の文学状況についても可能な限り検討したい。特に、夏目漱石・芥川龍之介・谷崎潤一郎については、鷗外との関連の上から、文学史的・作家論的討議を試みたい。

【講義計画】

- 1 一通の遺書から
- 2 『半日』——近代知識人の家庭崩壊のドラマ——
- 3 『追儼』——新しい表現方法の模索——
- 4 『キタ・セクスアリス』——金井湛の〈詞〉意識——
- 5 『牛鍋』『杯』——写生文か小説か——
- 6 『妄想』と夏目漱石『現代日本の開化』——近代日本への批判的眼差し——
- 7 『雁』——物語の範囲内と範囲外——
- 8 『興津弥五右衛門の遺書』——歴史小説執筆の意図——
- 9 『高瀬舟』——庄兵衛の眼差しが捉えたもの——
- 10 『百物語』——隅田川をめぐる3つの物語——

【評価方法】 自筆ノート持込み可の論述式試験を実施し、その結果によって評価する。

【テキスト】 森鷗外『山椒大夫・高瀬舟』『キタ・セクスアリス』『雁』（いずれも新潮文庫）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
17785 17787	国文学講読FⅠ・FⅡ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	藤 森 清
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 ジェンダー理論からみる日本近代文学

【講義内容】 日本の近代文学（この講義では、明治、大正を範囲とする）を、日本近代のジェンダー（文化的性差）構成という文脈から分析する。日本の近代文学は、男／女、あるいは男らしさ／女らしさの文化的構築とどのように関係しているのだろうか。この問題を文学という具体性のある素材について考察することは、われわれの意識ばかりか、身体にまで刷り込まれた性差の刻印を自覚することにもつながるだろう。

【講義計画】 春学期は、おおそ明治、秋学期は、おおそ大正を範囲とする。春学期に扱う文学テキストは、清水紫琴「こわれ指環」、樋口一葉「にぎりえ」、与謝野晶子『みだれ髪』、田山花袋「蒲団」、秋学期は森鷗外「半日」、長島武郎『或る女』、菊池寛「父帰る」、谷崎潤一郎『痴人の愛』、宮本百合子『伸子』。春学期秋学期とも、はじめにジェンダー理論の解説をする。

【評価方法】 各期末試験によって評価する。欠席過多を適用する。

【テキスト】 春学期・秋学期共通 中山和子編『ジェンダーの日本近代文学』（翰林書房）

文 学 部

共通科目

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
19013	日本史概説B	自	秋学期	2	3・4	青山 幹哉
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 朝廷・幕府・大名

【講義内容】 鎌倉幕府の成立は、朝廷と幕府との公武二重体制をもたらすと同時に東国地域国家の存在を顕然化させた。本講義では、鎌倉期から戦国期に至る朝廷と幕府、さらに戦国大名の地域国家等について歴史的経緯を踏まえて論じ、日本の中世国家とはなんであったか、考察する。

【講義計画】 ①治承寿永の内乱
②承久の乱後の国制
③元寇と得宗専制体制
④後醍醐天皇の統一国家構想
⑤足利義満政権－日本国王への道
⑥守護連合政権論と足利義教の將軍独裁
⑦管領細川政権－奇妙な「下克上」
⑧戦国大名の誕生
⑨天皇権威の浮上

【評価方法】 学期末における筆記試験および随時に課す小レポートにより評価。

【テキスト】 特に指定しないが、参考文献としては以下の書を挙げておく。
佐藤進一『日本の中世国家』岩波書店、1983年
佐藤進一『足利義満』平凡社、1980年（文庫版あり）
今谷 明『室町の王権』（中公新書978）中央公論社、1990年
今谷 明『室町時代政治史論』塙書房、2000年
池上裕子『戦国の群像』（日本の歴史10）集英社、1992年
その他、授業の中で適宜紹介する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
19015	世界史概説A	自	春学期	2	3・4	SZIPPL Richard
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 近代世界の成立

【講義内容】 厳密に言えば、西暦1500年まで世界は体系性のある全体をなしてはおらず、並立するいくつかの文化圏から成立しており、この文化圏間の関連性や交流は比較的に低い程度に留まっていた。しかし、1500年頃から、世界各地の文明圏を結ぶ地球的なレベルでの交流が可能となり、世界の一体化・近代化が始まった。テーマとしては、1500年前の世界の諸文明圏の情勢や文明圏間の交流、16世紀から18世紀までの間、世界の一体化と近代化に大いに貢献した文化的・経済的・政治的動き、(ルネサンス・宗教改革、大航海時代、産業革命、政治革命)を取り上げたい。

【講義計画】 本講義においては、下記の諸項目のもと、1500年までの世界の主な文化圏内の情勢と文化圏間の主な動きを概観してから、16世紀から18世紀の世界の一体化と近代化を考察しての世界史の流れについての基本的な知識を深めていく。

1. ユーラシア諸文明圏の成立と発展
2. ユーラシア諸文明圏間の交流
3. アフリカ大陸の文明圏の成立と発展
4. 南北アメリカ大陸の文明圏の成立と発展
5. 世界の一体化の始まり（ヨーロッパの海外進出）
6. 世界の近代化の始まり（ルネサンス・宗教改革）
7. 世界の近代化の始まり（科学革命・産業革命）
8. 世界の近代化の始まり（政治革命）

【評価方法】 筆記試験の結果を中心に評価するが、出席も重視する。

【テキスト】 テキストや参考文献については、講義中に指示する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
19023	自然地理学概論B	自	秋学期	2	3・4	岡 本 耕 平
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 風景のなかの自然地理B

【講義内容】 私たちはいかに豊かな自然の中で生活しているのか。開発、災害、環境保全、資源利用などで、人間活動は自然とどのように関わっているのか。環境問題にどのように対処すればよいのか。こうした点を考える上で基礎となる自然地理学の基本的な視点と考え方を学ぶ。

【講義計画】

- I 平野
 - 1. 平野の自然景観
 - 2. 沖積低地の生い立ちとその特徴
 - 3. 平野の開発と環境保全
- II 湖
 - 4. 湖の景観と成因
 - 5. 湖の環境変化
 - 6. 湖の開発と環境保全
- III 海岸
 - 7. 海岸の自然景観
 - 8. 海岸に残された過去の地形
 - 9. 海岸における環境問題
- IV 雨と風
 - 10. 日本列島の位置と気候
 - 11. 気候の恵みと災害
 - 12. 日本の気候をつくりだすもの

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 杉谷隆・平井幸弘・松本淳『風景のなかの自然地理』（古今書院、1993年）¥2,500
※講義では、テキスト中の地図を多用する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
19025	人文地理学概論A	自	春学期	2	3・4	岡 本 耕 平
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 経済地理学

【講義内容】 農業・工業・商業・サービス業などの歴史的展開と今日的な位置づけについて概観し、これらの産業と人々の生活との関係について考える。また、それら産業の東海地方での展開についても考察する。

【講義計画】

- I 農業
 - 1. 農業の産業としての特徴
 - 2. 農業の地域分化
 - 3. 日本農業の現状
 - 4. 農業と生活
- II 工業
 - 5. 工業の産業としての特徴

- 6. 工業立地論
- 7. 日本の工業地域
- 8. 中小工場と近年の工業の展開
- Ⅲ 商業・サービス業
- 9. 第三次産業とは何か
- 10. 商業・サービス業の立地
- Ⅳ 東海地方の産業展開

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 特になし。講義の中で参考文献を紹介する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年 次	担 当 者
19037	東洋史概説B	自	秋学期	2	3・4	江村 浩樹
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 中国古代帝国の形成

【講義内容】 日本および東アジアの諸国は、中国の影響を強く受けながら、独自の社会、国家を形成してきた。しかし、この中国の社会、国家は、世界史の中でも特異なあり方をしている。本講義では、中国の国家体制が一つの完成を見た秦漢帝国に関して、その形成過程にまで溯り、都市に視点を置きながら、その特質について考える。

- 【講義計画】
- 1 中国史の特異性
 - 1) 時代区分
 - 2) 専制支配と官僚制
 - 2 秦漢帝国論争
 - 1) 民間集団への注目
 - 2) 共同体への注目
 - 3) 地域性への注目
 - 3 戦国時代における都市の発達
 - 1) 都市発達の地域的片寄り
 - 2) 都市の制度的特質
 - 3) 都市住民の性格
 - 4 秦漢帝国の特質と都市支配
 - 1) 秦帝国の都市支配
 - 2) 秦末の都市反乱
 - 3) 漢帝国の都市支配と国家の性格

【評価方法】 筆答試験

【テキスト】 なし

【そ の 他】 参考資料としてプリント配布。また参考書として、永田英正編“アジアの歴史と文化1 中国史—古代”（同朋舎、1998）を推薦する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年 次	担 当 者
19053	西洋文化史Ⅱ	自	秋学期	2	3・4	真田 郷史
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 哲学科開講科目11125「近世・現代哲学史AⅡ」を参照。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
19067	宗教学概論B	自	秋学期	2	3・4	渡 邊 学
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 キリスト教学科開講科目21776「宗教社会学」を参照。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
19077	神学概論Ⅱ	自	秋学期	2	3・4	MARX Hans Jürgen
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 宗教科目00103「キリスト教概論 [HC]」を参照。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
19103	政治学概論B	白	秋学期	2	3・4	菊 池 理 夫
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 政治の基礎知識と民主主義

【講義内容】 現代の政治の基本的問題を理解するために、現代の政治学の理論や基本概念を明らかにしていくことを目的としたい。
同時に、変動が激しい国内、国際政治の動向をふまえ、時事的な問題にも言及し、できるだけ身近で、具体的な問題として政治を論じることによって、政治に無関心な学生にも、少しでも関心を持ってもらいたい。

【講義計画】 以下の順序で講義を進めていく予定である。
Ⅰ．政党の役割と政治資金
Ⅱ．圧力団体と利益政治
Ⅲ．選挙制度と投票行動
Ⅳ．行政と地方自治
時事問題も交えて講義していくので、受講者は出来る限り、新聞やTVなどで国内政治や国際政治の情報を得ている必要がある。

【評価方法】 基本的には論述形式の筆記試験によって評価するが、比較的小人数の授業となると思われるので、出席も考慮する。

【テキスト】 堀江 湛・岡澤憲英編『現代政治学』法学書院

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
19111 19113	Oral English I・II	自	春学期 秋学期	各1	3・4	RAMSEY David
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 文学部英語学英文学科開講科目14462「英語表現法Ⅰ2」、14472「英語表現法Ⅱ2」を参照。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
19115 19117	Theme Discussion I・II	自	春学期 秋学期	各1	3・4	RAMSEY David	
他の科目 との関連						他学科 履 修	可

【講義内容】 文学部英語学英文学科開講科目14461「英語表現法ⅠⅠ」、14471「英語表現法ⅡⅠ」を参照。